

リアホナ

力強く立つための
18の方法,
25ページ

墮胎について、使徒がはっきりと語る,
14ページ

新しい歌「神様からの家族」,
「フレンド」12ページ



末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)
大管長会:トーマス・S・モンソン、ヘンリー・B・アイリング、
ディーター・F・ウークトドルフ

十二使徒定員会:ボイド・K・バックナー、L・トム・ベリー、ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オックス、M・ラッセル・バ
ロード、ジョセフ・B・ワースリン、リチャード・G・スコット、
ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホルランド、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリ
ストファーンソン

編集長:ジェイ・E・ジェンセン
顧問:ゲリー・J・コールマン、菊地良彦、ジェラルド・N・ランド、W・ダ
ラス・シャムウェー

実務運営ディレクター:デビッド・L・フリッシュニク

編集ディレクター:ピクチャー・D・ケーブ

主任編集者:ラリー・ヒラー

グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーク

編集主幹:R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐:ジェニファー・L・グリーンウッド

副編集長:ライアン・カー、アダム・C・オルソン

編集補佐:スーザン・バレット

編集スタッフ:クリスティーン・バンズ、リンダ・ステール・クーパー、デビッド・
A・エドワーズ、ラリー・ポーター・ガント、キャリー・カステン、ジェニ
ファー・マディー、メリッサ・メリル、マイケル・R・モリス、サリー・J・オデ
カーク、ジュディス・M・パーラー、ビビアン・ポールセン、ジョシュア・J・
パーキー、キンバリー・リード、リチャード・M・ロムニー、ドン・L・サル、
ジャネット・トーマス、ポール・バンデンバーグ、ジュリー・ワーデル

主任秘書:ローレル・トイスチャー

マーケティング部長:ラリー・ヒラー

実務運営アートディレクター:M・M・カワサキ

アートディレクター:スコット・バン・カンペン

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ:カリ・R・アロヨ、コレット・ネベカー・オーヌ、ハ
ワード・G・ブラウン、ジュリー・バーテッド、トーマス・S・チャイルド、レジ
ナルド・J・クリステンセン、キャスリーン・ハワード、エリック・P・ジョ
ンセン、デニス・カービー、ギニー・J・ニルソン、ランドール・J・ピクストン

印刷ディレクター:クレーク・K・セジウィック

配送ディレクター:ランディー・J・ベンソン

日本語版翻訳課長:ヘンリー・W・サブストローム

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替
(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/00100-6-
41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵
送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ
……〒133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・
キリスト教会 管理本部配送センター 電話:03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定 価 年間予約/海外予約 1,800円(送料共)
半年予約 1,200円(送料共)
普通号/大会号 200円

「リアホナ」への投稿およびご質問は、下記の連絡先にお送りください。
Room 2420, 50 East North Temple Street,
Salt Lake City, UT 84150-3220, USA
電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、
以下の言語で出版されています。

アイスランド語、アラビア語、アルメニア語、イタリア語、インドネシア語、ウク
ライ語、ウルドゥー語、英語、エストニア語、オランダ語、韓国語、カンボジア
語、ギリシア語、キリバス語、クオアチア語、サモア語、シンハラ語、スウェーデ
ン語、スペイン語、スロベニア語、セブア語、タイ語、タガログ語、タヒチ語、
タミル語、中国語、チェコ語、テルグ語、デンマーク語、ドイツ語、トンガ語、日本
語、ノルウェー語、ハイチ語、ハンガリー語、ヒズラマ語、ヒンディー語、フィジー
語、フィンランド語、フランス語、ブルガリア語、ベトナム語、ポーランド語、ポ
ルトガル語、マニラ語、マダガスカル語、モンゴリ語、ラトビア語、リトアニア
語、ルーマニア語、ロシア語。(発行頻度は言語により異なります。)
©2008 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有。印刷:日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭におい
て臨時に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。
視覚資料に関しては、作品のクレジットに制限が記されている
場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、
Intellectual Property Office, 50 East North Temple Street,
Salt Lake City, UT 84150, USAに郵送するか、電子メール——
cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。
「リアホナ」は、教会のホームページ www.lds.org (英語)に様々な言語で
掲載されています。英語の場合は「Gospel Library」(福音図書館)をク
リックしてください。その他の言語は言語名をクリックしてください。

For Readers in the United States and Canada:

October 2008 no. 10 LIAHONA (USPS 311-480) Japanese (ISSN 1521-
4729) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day
Saints, 50 East North Temple, Salt Lake City, UT 84150, USA subscription
price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals
Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of
address. Include address label from a recent issue; old and new address must
be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution
Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit
card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone.
(Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center,
Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

一 般

2 大管長会メッセージ——キリストのような属性をはぐくむ

ディーター・F・ウークトドルフ 管長

8 信仰を見いだす ジョシュア・J・パーキー

13 家庭訪問メッセージ——性別は、永遠の状態と目的にとって必須の特性である

14 墮胎——無抵抗な者への暴行 ラッセル・M・ネルソン 長老

20 末日聖徒の声

信仰はありましたが、お金がありませんでした テオドゥロ・トロコニス

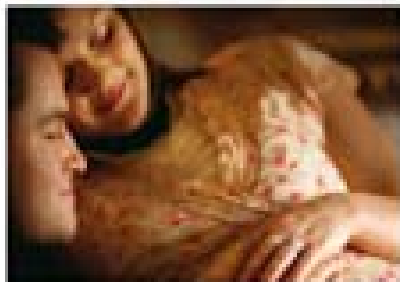
すべてはうまくいく キャンディス・コストン

わたしの驚くべき夢 ジェフリー・S・ロー

浸水を止める信仰 ピルッコ・カッシネン

48 読者からの便り

14 墮胎——無抵抗な者への暴行



表紙 表紙——写真/クレーク・ダイヤモンド
裏表紙——写真加工/クリスティーナ・スミス

「フレンド」表紙 写真加工/デビッド・ストーカー



13 家庭訪問メッセージ

2 キリストのような属性をはぐくむ



家庭の夕べのためのアイデア

以下の提案は、家庭だけではなく
クラスでのレッスンにおいて
も役立てることができま
す。皆さんの家庭やクラス
に合わせて変更を加えても
よいでしょう。

「信仰を見いだす」

8ページ——証とは何
かについて話し合いま
す。ジョシュアの話をしてください。
エテル12:6を読み、この聖句がジョ
シュアにとってどのような意味を持っ
たか尋ねます。証を強めるために、
わたしたちの信仰はどのように試さ
れるのでしょうか。ジョシュアはバプテ
スマを受けた後、どのように信仰を増
し加えたのでしょうか。証をするよう家

族に勧めましょう。
「力強く立つための18の方法」25
ページ——この記事は、数回にわ
たって家庭の夕べで用いるこ
とができます。細長い紙に
18の標準を書きます。1枚
を引き、記事から該当
する標準の項を読み
ます。その標準が家族
にどのように当てはまるか話し合
いましょう。次に、もう1枚を引き、
いいと思うまで同じ要領で続けます。
これらの指針が生活の中でいかに
大切であるかを強調してください。
それぞれの標準の項で与えられてい
る勧告に従う目標を立てます。最後
に「信仰をもって前進する」の項を読



今月号のどこかに隠れている
エストニア語のCTRリングを捜しながら、
助けの必要な人に奉仕することで、
どのように正義を選ぶことができるかを
考えてみましょう。



青少年

- 25 力強く立つための18の方法
- 38 木馬に気をつけなさい ケネス・ジョンソン長老
- 42 質疑応答——友人とわたしには、うわさ話をするという問題があります。そのようなことを自分がもうしないように、そして友人もやめられるように助けるにはどうしたらよいでしょうか。
- 44 答えを知っている人 ドン・L・サール
- 47 ポスター——標準

付録——青少年

質問カードと『若人の強さのために』カード



25 力強く立つための18の方法



F10

幸せになるためのお手伝い

みましょう。

『木馬に気をつけなさい』38ページ——サタンは今日、多くのものを木馬に仕立て上げています。記事にあるトロイの木馬の話を読み、家庭にある本や音楽、映画に問題がないかを検討してみましょう。「これは取っておいても大丈夫?ゲーム」のような形で行うこともできます。徳高く、好ましく、誉れあるものや称賛に値するものだけを家に置くようにしてください(信仰箇条1:13参照)。モーサヤ5:15と教義と聖約45:32を読んで締めくくります。

『幸せになるためのお手伝い』F10ページ——この機会に、家族の家事分担表を作るか、すでであれば

継続させましょう。

(子供の年齢に合わせて)家事を箇条書きにし、各自に一つ選ぶように言います。記事を読み、家族の一人一人が手伝うのはなぜ大切かを話し合います。これからの1週間で、ほかの人に奉仕する目標を立てましょう。

『伝道に備える』F14ページ——ユリシス・ソアレス長老がどのように伝道に備えたかをよく聞くように家族に言ってから、長老がビショップから助言を受ける箇所を読みます。家族の一人一人がどのようにして宣教師になる備えができるかについて話し合います。

フレンド

- F2 預言者の声——価値あるおくりもの
ヘンリー・B・アイリング管長
- F4 分かち合いの時間——わたしはしゅのしもべになります
リンダ・クリステンセン
- F6 よげんしゃジョセフ・スミスのしょうがいから——
かんごくに入れられたジョセフ
- F8 あかしの手ぶくろ
- F10 幸せになるためのお手伝い ジーニー・ランカスター
- F12 歌——神様からの家族 マシュー・ニーリー
- F14 小さなお友達へ——伝道に備える
ユリシス・ソアレス長老
- F16 色をぬりましょう

F8 あかしの手ぶくろ



今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

Fは「フレンド」の略	信仰, 2, 8, 20, 21, 23,
証, 8, 44, F8	36
安息日, 34, F4	神殿, 20
祈り, 21	性別, 13
うわさ話, 42	選択の自由, 26
親の務め, 14	墮胎, 14
音楽, 30	知恵の言葉, 36
改宗・改心, 8	デート, 31
家族, 28, F12	伝道活動, 8
家庭訪問, 13	伝道の備え, F14
感謝, 27	友達, 28
教育, 27	慰め, 21
悔い改め, 33	標準, 25, 38, 44, 47
啓示, 22	服装, 29
言語違い, 31, 42, F6	奉仕, 36, F2, F4, F10,
身分の一, 35	F16
純潔, 32	ホームティーチング, 2
正直, 33, F14	メディア, 30
初等協会, F4	養子縁組, 14
試練, F6	



キリストのような属性を

はぐくむ

大管長会第二顧問

ディーター・F・ウクトドルフ管長

航空会社のパイロットとして仕事をしてきたころのことです。時々、乗客がわたしの操縦する航空機の操縦席を見学することがありました。だれもがたくさんのスイッチや計器、システムや手順について尋ね、こんなに複雑な機器で、しかもこんなに巨大で立派な飛行機をどうやって飛ばすのか、と聞いてきました。

わたしはいつもこう説明したものです。こうした空飛ぶ機械に乗り込んだ人たちに快適で安全な旅を提供するには、空気力学に基づいた設計、数多くの補助システムやプログラム、そして強力なエンジンを総動員する必要があります。

そして、説明を分かりやすくするために、基本的な点にだけ焦点を当てて、次のように付け加えました。どうしても必要なものは、強く前に押し出す推進力と強力な揚力、そして、適切な機体姿勢の3つです。それらがそろえば自然の法則により、飛行機も乗客も、大陸を横断したり、大海を越えたり、高い山々の上空や、激しい雷雨の中を飛んだりして、無事に目的地に到着することができるのです。

見学者たちとのこうしたやりとりを振り返りながらよく考えたことは、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であることについても、同じように問いかけてみるができるのではないかとということです。地上における神の王国に属す

るわたしたちの基本的で土台となる原則とは何なのでしょう。また、いざというときにわたしたちの望む永遠の目的地に向かって確実に運んでくれるものは、結局のところ何なのでしょう。

福音の不変の核

教会は、組織の力やプログラムを総動員して、教会員に数多くの重要な活動を提供しています。家族や個人が、神と同胞^{ほらから}に仕えるのを助けるためです。しかしながら、時々、そうしたプログラムや活動の方が、福音の核となる教義や原則よりも、わたしたちの思いや心をとらえることがあるように思えます。手続きの方法、プログラム、方針、組織の運営方式といったものは、この地上でわたしたちが霊的に進歩するための助けにはなりません。しかし、そうしたものは、変わる可能性があるということを忘れないようにする必要があります。

反対に、福音の核、つまり教義や原則というものは、決して変わることはありません。基本的な福音の原則に従った生活を送ることによって、あらゆる末日聖徒の生活に、力と強さ、そして霊的な自立心が増し加わります。

信仰はまさに力の原則です。人生にはこの力の源が必要です。神は力をもって働かれますが、この力は通常、わたしたちの信仰に応じて現れます。「行いを伴わない信仰〔は〕むなし」ものです(ヤコブの手紙2:20)。神はその子供たちの信仰に応じて働かれるのです。



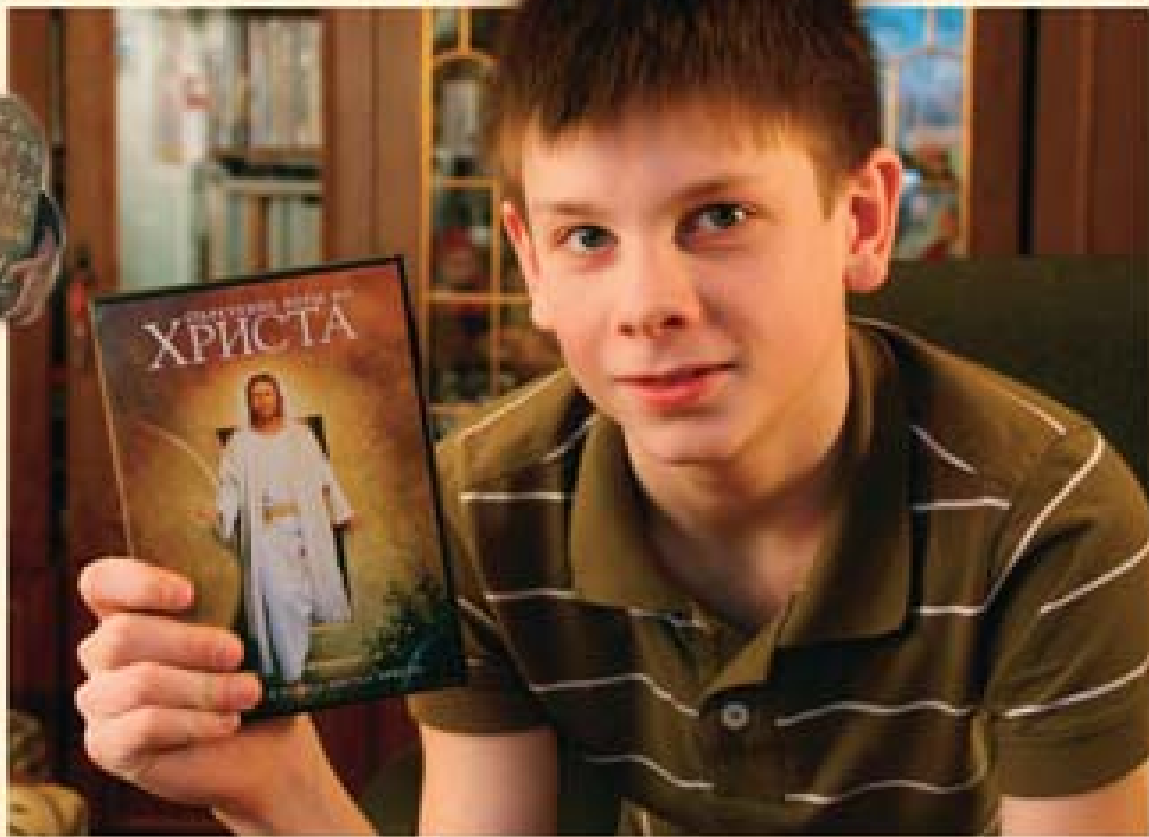
基本的な福音の原則に従った生活を送ることによって、あらゆる末日聖徒の生活に、力と強さ、そして霊的な自立心が増し加えられます。





イエス・キリストを 信じる信仰は、 行動へと

つながります。
キリストを信じる
信仰を持つと、
主を信頼して、
主の戒めに
従おうとします。



預言者ジョセフ・スミスは次のように説明しています。「わたしは人々に正しい原則を教えて、自らを治めさせる。」¹ 実に簡潔にして要領を得ています。正しい福音の原則を理解し、吸収し、それに従って生活しようと努力するとき、もっと霊的に自立できるようになります。霊的な自立という原則は、神が与えてくださった、教会の基本的な教義である選択の自由から発展した原則です。わたしは、選択の自由というものは、神がその子供たちに賜った賜物の中たまものでも、生命そのものに次いで、最大の賜物の一つだと確信しています。

この選択の自由とそれがもたらす永遠の結果について研究し、深く考えるとき、自分たちがまさしく神の霊の子であり、それゆえに神の子らしく行動しなければならないと実感します。このことが理解できると、さらに、自分が末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、世界的に大きな聖徒の家族に属していることも分かるのです。

教会の組織的な構成は、集う人の人数や成長の度合い、必要に従って、きわめて柔軟に対応できるようになっています。基本ユニットプログラムと呼ばれるものがあり、組織を簡素化し、集会の数を少なくすることもできるようになって

います。もちろん、互いに奉仕し合うための強力な組織力を持つ大きなワードも存在します。いずれにせよ、そうした組織はすべて、靈感された教会のプログラムによって、会員が「キリストのもとに来て、キリストによって完全に」なれるよう助けるために作られているのです(モロナイ 10 : 32)。

どのような形を取るにせよ、神の目から見た価値はまったく同じです。イエス・キリストの回復された福音の教義は、どのユニットでも同じだからです。わたしは主イエス・キリストの聖任された証人として、主こんにちが生きておられ、この福音が真実であり、今日この地上で神の子供たちが直面しているあらゆる個人的な問題や、万人に共通する問題あかしに、答えを提供するものであることを証します。

忠実な者の強さ

2005年、妻とわたしはヨーロッパ中の数多くの国々を訪問し、教会員と会ってきました。ヨーロッパの一部の国々では、教会は古くからあり、その歴史を1837年までさかのぼる地域もあります。ヨーロッパの忠実な教会員たちによって、信仰が代々受け継がれてきたのです。

現在、ヨーロッパ全域には40万人以上の教会員がいます。19世紀から20世紀にかけてヨーロッパからアメリカへ移住したすべての世代のことも考えれば、総教会員数は今の数倍になると考えてもよいでしょう。

数多くの信仰深い教会員が、教会の初期の時代に故国を去って行った理由は何なのでしょう。いろいろな理由が考えられます。迫害を逃れるため、アメリカで教会の設立を助けるため、経済的な環境を良くするため、神殿の近くに住みたいという望みのため、ほかにもたくさんの理由があったことでしょう。

ヨーロッパには今なお、この移住の影響が残っています。しかしながら、数世代にわたる忠実な教会員から生み出される強さが、現在、いっそう顕著に現れています。主のために伝道の奉仕をする若い男女や年配の夫婦の数も増加しています。神殿結婚の数も増し、教会員たちがさらに自信と勇気をもって、回復された福音を分かち合っています。一方、ヨーロッパの民の中でも、その他世界の数多くの地域においても、キリストの真の教えの恩恵に浴していない霊的な空白地帯が存在します。この空白は、回復された福音のメッセージで埋めなければなりませんし、そうすることができません。これは、すばらしい会員たちがこれまで以上の勇気と信仰をもってこの福音に従って生活し、福音を宣べ伝えるにつれて、実現するでしょう。

ヨーロッパにおける教会の発展に伴い、教会が設立されてからまだ15年にも満たないという国々も存在します。2005年に訪問した折、わたしが話したある伝道部会長は、故国ロシアで奉仕していましたが、会員歴はわずか7年でした。「バプテスマを受けた同じ月に支部会長に召されました」と言っていました。彼には時々、自分には荷が重すぎると感じたことがなかったのでしょうか。もちろん、ありました。では、教会のプログラムを全部完全な形で導入しようとしたのでしょうか。幸いなことに、しなかったのです。では、そのような小さな集まりの中で、しかも短期間に、どうやってそれほどまでに強くなったのでしょうか。彼はこう説明しています。「わたしは心の底からこの教会が真実であることを確信していました。福音の教義が思いや心を満たしてくれたのです。教会に加入したとき、家族の一員になれたと実感しました。温かさや信頼、愛といったものを感じたからです。わたしたちの数はほんのわずかでしたが、皆で救い主に従おうと努力しました。」

会員たちは互いに支え合い、できる範囲で最善を尽くしまし

た。そして、教会が真実であることを知っていました。彼の心を引きつけたのは組織ではありません。福音の光でした。そしてこの光が、そうした善良な会員たちを強めてくれたのです。

数多くの国では、教会はなお初期段階にあり、組織を巡る状況も完全とは程遠いものがあります。しかしながら、その地の教会員たちは、恐らく心の中に真理についての完全な証を持っているのでしょう。経済的な問題や困難にもかかわらず、自分の国にとどまり、教会を確立していくならば、将来の世代の人々は、勇気ある現代の開拓者たちに感謝することでしょう。このような開拓者たちは、1999年に大管長会が勧めた、愛に満ちた次の言葉に従っているのです。

「主は今日の時代において、神殿の数を増やすことも含め、福音の祝福を世界の多くの地域にもたらすことがふさわしいと考えておられます。そこでわたしたちはこれまで続けてきた勧告を再度強調し、アメリカ合衆国に移民するのではなく

母国にとどまるように教会員の皆さんにお願いしたいと思います。……

世界中の教会員の皆さんが母国にとどまり、母国における教会の確立のために働くならば、大いなる祝福が彼ら個人に与えられ、それらが総体的に教会への祝福ともなるでしょう。……」²

ここで、大きなワードやステーキに住んでいる皆さんに、一言注意を喚起します。わたしたちは、証の中核というものが教会という共同体の社会的な側面、すなわちワードやステーキのすばらしい活動やプログラムや組織にあるのではない、ということに注意する必要があります。こうしたものは確かに重要ですし、価値あるものですが、それだけでは十分ではないのです。さらに言えば、親睦しんぼくだけでは十分ではないのです。

従順がもたらす守り

今、混乱と災害と戦争の時代に生きていることをだれもが実感しています。わたしたちも、またほかの数多くの人々も、「防御のためとなり、また嵐あらしと激しい怒りが全地にありのままに注がれるときに、その避け所となる」場所を切に求めています(教義と聖約115:6)。そのような安全な場所は、どうしたら見いだせるのでしょうか。ゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910-2008年)は次のように教えています。「わたしたちの安全は生活の徳高さに懸かっています。わたしたちの強さは義の中に存在しています。」³

ここで一緒に、イエス・キリストがどのように使徒たちに教



えられたか、振り返ってみましょう。主はこの地上で務めに携わり始められたころ、分かりやすく明確に、次のように教えられました。「わたしについてきなさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」(マタイ4:19) この御言葉はまた、十二使徒たちの務めの始まりともなりました。恐らく使徒たちは自分の至らなさを感じたことでしょう。わたしが言いたいのは、ここで救い主御自身が、生活の核となる教義と優先順位について教えておられるということです。個人として、わたしたちはまず「主について行く」必要があります。そうするとき、救い主は、わたしたちが主の望まれる者となれるように、わたしたちの力以上のものを祝福として与えてくださるのです。

キリストについて行くということは、キリストのような者になるということです。主の人格から学ぶということです。天の御父の霊の子供であるわたしたちには、生活にも人格にも、キリストのような属性を取り入れる能力が、間違いなく備わっています。救い主は、主の教えに従って生活することによって主の福音について学ぶよう勧められます。主について行くとは、正しい原則を実践し、それに伴う祝福を自分の目で見届けることです。この過程は、非常に複雑でもあり、同時に非常に簡潔でもあります。古今の預言者たちは、簡潔な表現で、「戒めを守りなさい」と言っています。それ以上でも、それ以下でもありません。

生活の中でキリストのような属性をはぐくむというのは、決して容易なことではありません。特に、一般論や抽象論から離れて、実生活で実践しようとするときには、それが言えます。わたしたちは、口で述べることを実行するかどうかで試されるのです。キリストのような属性がほんとうに身に付いたかどうかは、夫、妻、父親、母親、息子、娘として、生活に目に見える形で現れているかどうかで分かります。また、友人と接するとき、仕事や事業に携わるとき、レクリエーションきょに参加しているときもそうです。少しずつ「[主の]前に聖さを尽くして行動する」力が増してくると(教義と聖約43:9)、自分の成長に気づきます。そして、周囲の人々もそれを認識してくれます。

聖文の中には、この世の生涯を通じてはぐくんでいかなければならないキリストのような属性について数多く書かれています。知識や謙遜けんそんさ、慈愛や愛、従順や勤勉さ、信仰や希望もその中に含まれます(教義と聖約4:5-6参照)。こうした人格は、教会のユニットという組織の状況とは無関係です。経済的な環境とも、家族の状況とも、文化、人種、言語とも無関係です。キリストのような属性は神から賜るものです。主の助けなしに伸ばしていくことはできません。

主の力を信頼する

わたしたち皆が必要とする一つの助けは、イエス・キリストの贖あがないを通じて、だれにでも惜しみなく与えられています。イエス・キリストとその贖いを信じる信仰を持つということは、完全に主に頼るということを意味しています。つまり、主の無限の力や英知、愛に全幅の信頼を置くということです。キリストのような属性は、選択の自由を義にかなって働かせるときに、わたしたちの生活に形となって現れます。イエス・キリストを信じる信仰は、行動へとつながります。キリストを信じる信仰を持つと、主を信頼して、主の戒めに従おうとします。た

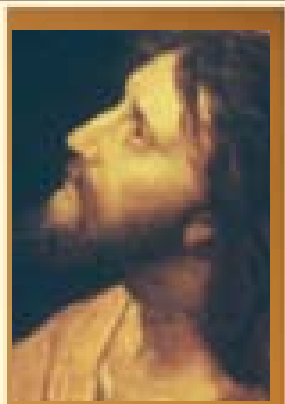
ホームティーチャーへの提案

このメッセージをよく祈って研究した後、あなたがたが教える人々の参加を促すような方法を用いて分かち合ってください。幾つかの例を以下に紹介します。

1. 1枚の紙を持ち上げてから、床に落とす。次に、同じ紙で紙飛行機を作り、そっと投げつけて飛ばす。元の紙に起きた変化と、天の家へ戻る旅を始めるために「わたしたちを高めへ引き上げる力を生み出す」キリストのような属性とを比較する。

2. あなたの家族の中で最初に教会員となった人の写真を見せるか、またはその人について話す。大草原を渡った人も、あるいは教会に入りイエス・キリストの教義に忠実に従って生活する模範を最初に示した人も、どちらも開拓者こんにちだった。今日、彼らと同じ信仰が主に従う動機づけを与えてくれることについて話し合う。





わ たしたち皆が
必要とする
一つの助けは、
イエス・キリストの
あがな贖いを通じて、
だれにでも惜しみなく
与えられています。
イエス・キリストと
その贖いを
信じる信仰を持つ
ということは、
完全に主に頼る
ということを
意味しています。
つまり、主の
無限の力や英知、愛に
全幅の信頼を置く
ということです。

とえ戒めが与えられた理由を完全に理解できなくとも、従おうとします。さらに救い主のような者になろうと努めるとき、自分の生活を定期的に評価し直し、まことの悔い改めの道に従って、イエス・キリストの功德と贖いの祝福に頼る必要があるのです。

キリストのような属性を身に付けることは、場合によっては苦痛を伴います。主とそのしもべたちの教えや叱責しっせきを進んで受け入れる必要があります。例えば、世界中の人々に向けた教会の定期総大会は、音楽や語られる言葉とともに、「高い所から」の霊的な力や教え、祝福を感じ、授かる機会です(教義と聖約43:16)。また、個人的な靈感や啓示の聲が、心に平安をもたらし、いっそうキリストのような者となるためにはどうしたらよいかを教えてくれる時でもあります。この声は、親しい友の声のように麗しく、十分にへりくだっているときには、心を満たしてくれます。

救い主のような者となることによって、わたしたちは、「聖霊の力によって、……望みにあふれ」る力を伸ばしていくことができます(ローマ15:13)。「この世のものを捨てて、この世に勝る世のものを求め」ていくことができるのです(教義と聖約25:10)。

ここまで話して、空気力学の話とつながります。冒頭で、基本的な事柄に焦点を当てると話しました。キリストのような属性こそ、わたしたちが焦点を当てるべき基本なのです。それは土台となる原則であって、わたしたちを高みに引き上げる力を生み出します。生活の中で、一步一步、キリストのような属性を身に付けようと努めるとき、その属性は「わしの翼に乗せるように[わたしたちを]支え」てくれるでしょう(教義と聖約124:18)。イエス・キリストを信じる信仰を持つことで、力が生まれ、しっかりと前進することができます。そして、揺るぎない、いきいきとした希望を抱くことにより、高みに引き上げられるのです。信仰と希望は、わたしたちを運んで、誘惑の海や苦難の山々を越えさせてくれます。そして、永遠のふるさとである目的地まで安全に連れて行ってくれるのです。■

注

1. ジョン・テラーによる引用, "The Organization of the Church," *Millennial Star*, 1851年11月15日付, 339
2. 大管長会からの手紙, 1999年12月1日付
3. 「また逢うまで」『リアホナ』2002年1月号, 105



信仰を見いだす

宣教師たちは、数か月の間、
バプテスマを受けるように何度も勧めました。
でも、わたしは断り続けました。

教会機関誌

ジョシュア・J・パーキー

19 89年から1990年にかけてのことです。当時わたしは大学1年生でした。ある晩、親しい友人マットと一緒に遅くまで試験勉強をしていました。

突然、マットが質問しました。わたしの人生を変えるような質問でした。「君の教会では、神はどんな御方だと考えられているの？つまり、君は神がどんな姿形をしておられると思う？」

わたしは彼に答えることができませんでした。わたしの気持ちを察した彼は、何げなく話題を変えました。でも、わたしは忘れることができませんでした。当時わたしは普通とは異なる状況にいました。プロテスタントでしたが、ブリガム・ヤング大学に通っていました。自分の信仰だけでなく宗教全般に疑問を持っていましたが、自分の宗教を変えるつもりはありませんでした。それどころか、その1年間ずっと、宗教的な会話を避けて、霊的なバリケードを入念に張り巡らしていました。友人はこの単純な質問をすることで、ついにわたしの心に小さな風穴を開けてしまったのです。

信仰を探し求める

それからの数か月、わたしは繰り返しこう自問しました。「自分は何を信じているのだろうか。そもそも信じているのだろうか。実際に神はおられるのだろうか。おられるとしたら、どんな御方なのだろうか。神を知ることはできるだろうか。神はわたしの祈りにこたえてくださるだろうか。末日聖徒の友達のような信仰を、わたしも持つことができるだろうか。」

以前にそのような真剣な疑問について考える機会がなかったわけではありません。何年もの間、末日聖徒の友達と親しくつきあってきました。そうした友達の影響で、ブリガム・ヤング大学で学ぶようになったのです。しかし、友人がわたしに福音を分かち合おうとすると、ほとんどいつも断ってきました。宣教師に会う機会もたまにありましたが、心を開いて耳を傾けようとはしませんでした。

求められることになる変化、つまり社会的にも情緒的にも家族から切り離されるというような変化が、わたしはとても怖かったのです。これまでの自分が間違っていた、あるいは自分の従ってきた慣習が正しくなかったということ認めたくなかったのです。自分やほかの人が神から啓示を受けられることを信じていませんでした。神がジョセフ・スミスという少年に御姿を現されたこと、新しい聖典を啓示により世に出されたこと、^{みすがた} 真実の教会として確立するのに特定の宗派だけが導きを得たということ、そのどれもが、非常識で非論理的で、あり得ないことに思えました。

皮肉なことに、わたしは自分の宗教だけでなく、すべての宗教が真実かどうか疑っていました。心は家族や友人への愛で満たされ、^{みたま} 答えを切望していましたが、御霊のささやきに対しては、心を閉ざしていました。

大学1年を終えると、わたしはケンタッキーの故郷へ戻り、勉学を続けました。間もなく末日聖徒の友人たちは伝道へ出てしまい、わたしは深い孤独感にさいなまれました。人生の2年間をささげるほど強い確信が自分にも少しあったらいいなと思いました。同時に、マットの質問に対する答えが自分にはないことが、相変わらず気になっていました。自分で

真実を知りたいと思いました。友人たちから宣教師に会ってみるように手紙で何度も勧められた後、ようやく、ためらいを乗り越え、その勧めを受け入れることにしました。

改宗を考える

けれども、福音の様々な原則は相互につながっていて、一つの大きな体系に包み込まれるという考えについては、受け入れ難いものがありました。宣教師たちは、彼らのメッセージは全体としてすべてが真実か偽りかのどちらかなので、わたしが一つの原則について証^{あかし}を得れば、おのずと彼らの教えることをすべて受け入れられるようになる、と考えていました。

でも、わたしにはそう思えませんでした。霊的、教義的な意味でのバイキング料理のようなものから、自分の信じたものを自由に選べるはずだと思っていたのです。¹ 同時に、わたしの論理では、信仰に基づく改宗ではなく、観察や経験に基づく証拠を求めています。

残念ながら、わたしの論理も満足のものではありませんでした。冷静にあれこれ考えてみましたが、いずれも矛盾する悲観論ばかりで、真の答えではありませんでした。友人や宣教師たちが聖霊の導きであると説明するような、何か心に響くものをわたしは求めていました。わたしは宣教師から福音を学ぶに当たって、

次のように考えていました。「彼らの言うことが真実かどうかひよっとしたら分かるかもしれない。少なくとも、真実でないことが分かれば、幾らかでも心が満たされるだろう。」

わたしは
わ 繰り返し
自問しました。

「自分は何を
信じているのだろうか。
もっと重要なことには、
そもそも
信じているのだろうか。
実際に神は
おられるのだろうか。
おられるとしたら、
どんな御方
なのだろうか。
神を知ることは
できるだろうか。
神はわたしの祈りに
こたえてくださる
だろうか。」



わ たしが
すべきことは、
光が
照らし出す前に、
信仰をもって
暗闇に飛び込むこと
でした。

宣教師たちは忍耐強く、臆^{おそ}することがありませんでした。数か月の間、福音について多くを教え、バプテスマを受けるように何度も勧めました。でも、わたしは断り続けました。明白で奇跡的な出来事が起きて確信を得る日を待っていたのです。奇跡が起きたら、彼らの勧めるとおりにしようと思っていました。しかし、そのような確信を得られず、わたしは相変わらずバプテスマの勧めを拒み続けました。

ある日、長老たちはモルモン書の一節を読みました。「自分が見ていないからということで疑ってはならない。信仰が試されてからでなければ、証は得られないからである。」(エテル12:6)そして、こう言いました。「わたしたちがバプテスマを勧める度に、あなたは『いいえ』と言います。まず、『はい』と

言うてみてください。そうすれば、御霊が確認を与えてくれますよ。」

言い換えると、わたしがまだ証を受けていない理由は、まだ自分の信仰を試していなかったからだ、ということです。わたしは、試さなくても証は得られるものだ^{と決めてかかり、何も考えずに求めてばかりいました(教義と}

聖約9:7参照)。次のステップへ進もうとしなかったために、御霊がわたしに証しようとするのを自ら妨げていたのです。わたしがすべきことは、光が照らし出す前に、信仰をもって暗闇^{くらやみ}に飛び込むことでした。自分の信仰を試す前ではなく、試した後に、確認の証がもたらされるというのです。²

最初、宣教師はわたしにバプテスマを受けさせるために言いくるめようとしているのではないか、と思いました。そこで、バプテスマの勧めを断ると、まさにその瞬間、何かかすかな力がわたしの心から離れて行きました。それは宣教師の勧めに従うようにという、静かで穏やかな平安でした。しかし、なくなって初めて、存在に気づいたのです。その後に残ったのは、混乱とむなしさと悲しみでした。

わたしは思い巡らしました。離れて行ったあのかすかな気持ちが御霊というものだったのだろうか。混乱の原因は、御霊を追い払った自分のかたくなな心だったのだろうか。ほかに頼みとするものがなかったので、わたしは宣教師の約束を試してみることにしました。「いつもの勧めを逆らわずに受け入れ、約束どおり御霊を感じたら、バプテスマを受けることにしよう。逆に、御霊を感じなければ、ただ冗談を言っただけです、と宣教師に言えば済むことだ。」そう考えたのです。



信仰の種を試す

次の約束の晩、『放蕩息子』という、教会の新しいビデオを見ました。部屋の中に特別な雰囲気を感じました。宣教師たちは明らかに感動した様子で、目に涙を浮かべていました。

ビデオが終わると、聖句を幾つか読みました。とうとう、クリッチフィールド長老がわたしの方を向いて尋ねました。「11月10日土曜日午後4時にバプテスマを受けてくださいますか。」

わたしはためらいながらも、「はい」と答えました。

その瞬間、わたしは、体に電気が走ったかのように、御霊の力に打たれ、感動に包まれました。涙が込み上げてきました。確かに、霊的な暗闇に光がとまりました。わたしは自分の信仰を試したのです。バプテスマを受けなくてはならないことをはっきりと悟りました。

わたしは信仰の一つの種が良いものであるという証を得ることができました(アルマ32:35-36参照)。しかし、その種が生長して実をつけることまでは、まだ確信がありませんでした。また、ほかの福音の原則について確認を与える証も受けていませんでした。信仰の試しはまだ終わっていませんでした。

バプテスマと確認の儀式を受けてからしばらくすると、心に疑問が忍び込んで来ました。バプテスマを受けようと決心したときのごく個人的な経験と、信仰に基づいた知識を受け入れなかった昔の論理との間に矛盾を感じたのです。

間もなく、再び混乱と悲しみに取りつかれるようになり、何を信じたらよいか分からなくなりました。それでも、わたしはすでにある決意をしていました。信仰の試しを乗り越えて何らかの方法で矛盾を解決できるまで、教会に活発にとどまり、教えられた原則を生活に応用するという決意です。

信仰を見いだす

主はさまざまわたしを独りにしておかれることはありませんでした。宣教師と一緒に奉仕する召しを受け、毎週伝道しながら、宣教師たちが導き続けてくれました。ホームティーチャーも忠実に召しを果たしてくれました。わたしのホームティーチングの同僚は機敏で信念のある人でした。ワードの多くの会員は夕食や家庭の夕べにわたしを招待して、彼らの生活に接する機会を増やすことで、親睦を深めてくれました。わたしと一緒に、またわたしのために祈ってくれました。ビショップも家族でわたしを気にかけ、励ましてくれました。彼らが心から思いやりを示してくれるのを実感し、決心を強めることができました。

数か月後のある日、モルモン書を読む度に、宣教師から福



従順の後に光が来る

「真理の基礎の上に信仰を築くことはとても簡単なことのように思えるので、なぜ皆がうまくできないのか不思議に思うかもしれません。一つの理由は心から謙遜になる必要があるからです。赦されるという思いや光が来ると

いう証拠もなしに、信仰だけに基づき、自分の誤りを認めて悔い改めることは困難です。しかし、それが踏むべき順序なのです。最初に従順があって、次に確かな確認、真理の啓示、光の祝福が来るのです。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長
“A Life Founded in Light and Truth,”
Ensign, 2001年7月号, 9

音を学びバプテスマの勧めを受けたときと同じ、懐かしい平安をかすかに感じていることに気づきました。そして、突然はっきりと分かったのです。「これが御霊だ」と。「もしこれが御霊なら、この本は真実に違いない」という言葉を考えていると、そのかすかな思いが心の中でふくらみ、わたしの信仰はその原則に関する霊的な知識に変わったのです。

その後も心がさらに「打ち砕かれ」、霊が「悔いる」ようになるにつれて(エテル4:15参照)、ほかの事柄についても確認を受け続けました。やがて確信が疑いに取って代わりました。神が生きておられ、イエスがキリストであられ、ジョセフ・スミスは神の預言者であると分かったのです。自分の知性や他人の説得によるのではなく、否定できない御霊の力が霊に語りかけてくれたためです。わたしの心に「訓戒に訓戒[が]加え」られていきました(2ニーファイ28:30参照)。こうした確信をもたらす経験を繰り返すうちに、福音に対する洞察力が深まり、以前よりも速やかに霊的に理解できるようになりました。経験を重ねる度に、勤勉な努力、進んで耳を傾け従う精神、御霊の勧めに従おうとする心が求められました(モーサヤ3:19参照)。

今のわたしは福音が真実であると言うことができます。なぜなら自分自身で知ったことだからです。かつて福音は奇妙で非論理的なものに思えました。でも今のわたしにとって、福音は親しみやすく、素晴らしいものです。確かに福音の原則はすべて相互につながっていて、一つの大きな体系に包み込まれています。教義に関する知識は比較的限られていたもの

確かに光が輝き、
道を照らし
続けています。

今のわたしは
福音が真実である
と言うことができます。
なぜなら自分自身で
知ったことだからです。

の、宣教師としてわたしは福音が真実であると証することができました。そして、教義の知識が増すにつれて、証も増し加えられるのです。

福音のすべての原則に対するわたしの証は、着実に強められ、絶えず養われ、悪の力からわたしを守ってくれています。直面する困難な問題、特に、すでに答えを受けた事柄について疑いを植え付けようとする悪の力に屈しない支えとなります(教義と聖約6:22-23参照)。気持ちが弱くなったり、疑念を抱いたり、心痛が続いたりするとき、わたしは証を受けた最初の日から成果を上げてきたのと同じ方法を使うようにしています。証を強めてきたこれまでの経験について深く考え、教えられた原則に従って生活するよういっそう努力し、御霊がわたしの信仰を確認するのに注意を向けるのです。

福音はすべて真実です。そして謙虚な心で暗闇の中に信仰の一步を踏み出すことによって信仰を試すすべての人に開かれています。救い主の光は、進んで見いだそうと努力しない人の目には見えませんが、確かに存在します。人生には暗い闇が何度も訪れ、証が試されるときがあるかもしれません。でも、わたしは分かりました。救い主の光はわたしたちが進んで主を求めるのを待っており、さらに求め続けるなら、光はわたしたちを改心へ導いてくれるのです。■

注

1. グレン・L・ペイス「預言者に従う」『聖徒の道』1989年7月号、29参照
2. ボイド・K・パッカー「モルモン書——イエス・キリストについてのもう一つの証——分かりやすくて貴いこと」『リアホナ』2005年5月号、8参照



性別は、永遠の状態と目的にとって 必須の特性である



訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や言葉を教えてください。その教義について証してください。あなたが教える人々に、感じたことや学んだことを分かち合うように勧めてください。

大管長会および十二使徒定員会——「すべての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます。そして性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。」（「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号、49）

性別が必須なのはなぜでしょうか。

十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老——「性別によって、自分が何者で、何のために地上にいて、将来何をし、何になるかがはっきり分かります。神の目的のため、男女は異なり、固有の特徴を備え、補い合っています。……幸福の計画を推し進めるには、霊的、肉体的、精神的、感情的に、男女が力を合わせて一つになることが必要だったのです。」（「結婚——神の永遠の計画に不可欠なもの」『リアホナ』2006年6月号、51参照）

中央扶助協会会長 ジュリー・B・ベック——「女性は神の霊の娘として『霊の世界において最初の教えを受け、……〔地上に〕出て行〔く〕準備をし」



ました（教義と聖約138：56）。『高潔で偉大な者たち』の中にいて（教義と聖約138：55）、地球が創造されたとき『喜び呼ばわ』りました（ヨブ38：7）。現世で肉体を与えられ、『試〔される〕』機会にあずかることを知ったからです（アブラハム3：25参照）。義にかなった男性の傍らにあって、お互い独りではなし得ない永遠の目標を果たすために、ともに働きたいと望みました。女性の役割はこの地上で始まったのではありませんし、ここで終わるのでもありません。地上で母親の役割を尊ぶ女性は、来世でも同じようにします。」（「母の心」『リアホナ』2004年5月号、76）

天の御父の計画における自分の役割を果たすために、何ができるでしょうか。

元中央若い女性会長 マーガレット・D・ナドール——「神の女性が世の女性のようになることは決してありません。世には強情な女性は十分います。必要なのは心の優しい女性です。粗暴な女性は十分います。必要なのは思いやりのある女性です。……名声と財産を手に行っている女性は十分います。もっと必要なのは信仰の篤い女性です。」（「女性であることの喜び」『リアホナ』2001年1月号、18参照）

十二使徒定員会 M・ラッセル・バラーダ長老——「前世と現世において男女がそれぞれに持つ特質は、神御自身によって定められました。……女性は……次のような疑問を抱くことがあります。『女性の価値は専ら妻や母親としての役割だけに限定されるのだろうか』と。答えは簡単明瞭です。『そのようなことはありません。』……義にかなった男女は皆、神の王国を前進させるために大切な役割を持っています。……

……愛する姉妹の皆さん、わたしたちは皆さんを信頼しています。皆さんが、善良で強いこと、……をよく知っていますし、そのような皆さんを頼みにしています。……神の計画によれば、皆さんは女王となって、この世でも永遠にわたっても女性が受けることのできる最高の祝福を受けるはずです。」（「義にかなった女性たち」『リアホナ』2002年12月号、36 - 37）■

墮胎—— 無抵抗な者 への暴行



命はかけがえのないものです!
無邪気な幼子をおきなごを抱き寄せ、
美しいひとみを見詰め、
小さな指に触れ、
頬に口づけするとき、
命への畏敬の念、
そして
わたしたちの創造主
に対する畏敬の念を
深めない人は
いません。

十二使徒定員会
ラッセル・M・ネルソン長老

初めに、読者の皆さんに、好ましくない言葉を使うことをお詫びします。ある戦争についてこれから話しますが、この戦争の性質から言って、はっきりとした言葉で語る必要があるのです。

神の息子や娘であるわたしたちは、神からの賜物として命を大切にしています。神の永遠の計画により、神の子供たちは肉体を受け、地上での経験を得、永遠の命を受け継ぐ者として神聖な行く末を実現する機会が与えられました。¹

戦争による死者数

このことを理解し、命に対する畏敬の念を抱くとき、わたしたちは戦争により命を落とした犠牲者に深い悲しみを覚えます。ぞっとするような数字があります。第一次世界大戦では800万を超える軍人が亡くなりました。第二次世界大戦では2,200万を上回る軍人が亡くなっています。² 合わせて14年にも及ぶこの二つの戦争は、世界中で少なくとも3,000万人の兵士の命を奪いました。この数字には、何百万という一般市民の犠牲者は含まれていません。

しかし、これらの数字をはるかに超える犠牲者を出す戦争があります。この戦争による犠牲者の数は、1年で、第一次大戦と第二次大戦両方の死者の数を上回ります。レポートによれば、全世界で毎年4,000万件の墮胎が行われているのです。³

墮胎と呼ばれるこの戦争は、無抵抗な者、声を上げられない者に対する戦いです。生まれていない者への戦いです。この戦争は地球規模で繰り返されています。皮肉なことに、人の命を守るための方策を持つ文明社会が、墮胎を容認する法律を制定するようになっているのです。

神の教義
このことについて、わたしたちは非常に憂慮しています。なぜなら主は繰り返し、「あなたは殺してはならない」⁴と告げてくれたからです。



また主は、「これに類することをしてはならない」⁵とも命じておられます。完全な福音が回復される前でさえ、良識ある人々は人間の命の神聖さを理解していました。16世紀の改革者ジョン・カルビンはこう書いています。

「野原で人を殺すより、自分の家で殺す方が恐ろしいと思えるのなら、……この世に生まれ出る前に、おなかの中で胎児を殺す方がもっと残虐ではないだろうか。」⁶

今や、人が定めた規則は、時の初めから神によって禁じられている行いを合法化しています。絶対的な真理が人の理論によってねじ曲げられ、明らかに間違っていることを勧める、聞き心地の良いスローガンへと形を変えられているのです。



特別な配慮が必要な場合

母親の健康に配慮することはきわめて重要です。

しかし、母親の命を救うために妊娠中絶が必要とされる場合は非常にまれであり、近代医療が受けられる地域では特にそうです。配慮すべきもう一つの事柄は、強姦や近親相姦による妊娠です。この悲劇はさらに複雑です。なぜなら、罪なき女性が持つ選ぶ自由が奪われてしまったからです。このような状況では、母親の身体的健康を保つため、また精神上、墮胎が妥当と判断される場合もあります。こうした理由で墮胎が行われることもまれです。

中には、先天的に肢体が不自由な子供が生まれる可能性を危惧して、墮胎に賛成する人もいます。確かに、何らかの病原菌や毒物が、妊娠してから3か月の間に悪影響を及ぼすことがあるのは事実ですが、妊娠中絶を検討するには注意が必要です。命はすべての人にとって偉大な価値があります。それは障がいを持って生まれる人にとっても同じです。さらに、実際は予想されたほど深刻ではなかったということもあります。

そのような経験乗り越えた夫婦のことをよく覚えています。女性の方は当時まだ21歳で、美しく、夫思いの妻でした。彼女は妊娠初期に風疹にかかりました。おなかの中で育っていた赤ちゃんに深刻な影響が及ぶのはほぼ確実だという理由で、墮胎を勧められました。家族の中にも、彼女への愛と気遣いから、墮胎を後押しする人がいました。忠実なその夫婦はピショップに相談しました。面接の後、ピショップはステーキ会長に話すように伝え、事情を聞いたステーキ会長は、たとえ問題を持って生まれる可能性が高いとしても、子供の命を絶たないようにと勧めました。そしてこの聖句を引用しました。

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」⁷

二人はその勧告に従うことを選び、子供を出産しました。かわいらしい女の赤ちゃんで、まったく耳が聞こえないことを除けば、すべての面で健常でした。聾学校に入学する際の評価では、天才的な知力があると言われました。奨学金を受けて有名な大学に通い、40数年がたった今、すばらしい人生を送っています。

障がいの可能性があるという理由で人の命を否定することは非常に深刻な問題です。この論理に基づいた考え方をすれば、障がいを持ってすでに生活している人々も同様に排除されるべきだということになってしまいます。

この痛ましい考え方がもう一歩先に進めば、体の弱い人や体が不自由な人もまた排除されるべきだという結論に達してしまいます。そのような命に対する非礼はとうてい考えられるものではありません。

要求に応じて行われる墮胎

今わたしが話したような、特別な事情で墮胎が行われるのは比較的多いです。⁸ほとんどの墮胎は、望まれない妊娠に対処するため、要求に応じて行われています。こうした理由での墮胎は、産児制限の一形態以外の何物でもありません。

多くの国では人工妊娠中絶が合法化されています。これは、女性は自分の体に対して何をしても自由だという前提に立っています。何をしても自由だということは、男女を問わず、わたしたち一人一人にある程度当てはまります。わたしたちは何を考えるのも、何を計画するのも、何を実行するのも自由です。しかし、一度何かを実行すれば、その結果から逃れることは決してできません。

この考え方をさらに明確に理解するために、宇宙飛行士から学んでみましょう。飛行士は、選考や準備の段階なら、いつでも宇宙飛行への参加を取りやめることができます。しかし、一度宇宙船が打ち上げられてしまえば、飛行士は、宇宙飛行をするという過去の選択に従わなければなりません。

親へと続く道を選ぶ人にも同じことが言えます。その道を歩み始めることも、歩み始めないことも自由です。しかし、妊娠の時点で選択はすでに終わっているのです。

確かに女性は自分の体をどう扱おうと自由ですが、宇宙飛

行士になるという選びであろうと、子供を産むという選びであろうと、その道を歩み始めると決めたら、選択がもたらす結果から逃れることはできません。選び直すことはできないのです。

堕胎の是非に関する論議では、「個人の選択の権利」が、あたかも最高の徳であるかのように引き合いに出されます。かかわっているのが当事者一人だけなら、確かにそれは正しいと言えるでしょう。ある人の権利のために、別の人の権利が侵害されてはなりません。しかし、結婚しているか、していないかにかかわらず、堕胎は単なる個人の問題ではないのです。成長しつつある赤ん坊の命を絶つという行為は、別個の体と脳と心を持った、二人の個人にかかわる事柄です。女性が自分の体について行う選びの中には、赤ん坊から命を奪う権利も、またその子供が生涯にわたって行う選択の機会を奪う権利も含まれてはいないのです。

末日聖徒であるわたしたちが守るべきものは、単なる手段としての選びではなく、正しい選びなのです。⁹

堕胎に関するほとんどの法律が妊娠期間について触れています。人の考えにより、仮定から、「人として認められる命」がいつ始まるかが決められているのです。わたしは医師として学びながら、新しい命は、二つの特別な細胞が一つの細胞となり、父親からの23個の染色体と、母親からの23個の染色体が合わされるときに始まるということを知りました。染色体には何千もの遺伝子が含まれています。遺伝情報が形成され、それによって胎児の持つ、人間としての基本的なすべての特徴が確立されるという驚くべき過程の中で新しいDNA構造が形成されます。そして成長を続け、新しい人間となるのです。二つの細胞が合わされてからおよそ22日後、小さな心臓が鼓動を始めます。26日目には血流が始まります。¹⁰ 育っている命がいつ「人として認められるか」を法律で定めることは仮定による判断であり、非常に身勝手

選考や準備の段階なら、いつでも宇宙飛行への参加を取りやめることができます。

しかし、一度宇宙船が打ち上げられてしまえば、飛行士は、宇宙飛行をするという過去の選択に従わなければなりません。

親へと続く道を選ぶにも同じことが言えます。



成長しつづける 赤ん坊の 命を絶つ

という行為は、
別個の体と
脳と心を持った、
二人の個人にかかわる
事柄です。

女性が
自分の身体について
行う選びの中には、
赤ん坊から
命を奪う権利も、
またその子供が
生涯にわたって行う
選択の機会を
奪う権利も
含まれては
いないのです。



なことだとわたしは考えます。

神や神の戒めを無視して、墮胎が多くの統治機関によって合法化されています。聖文には繰り返し、人は神の戒めに従うときにのみ栄えると書かれています。¹¹人は神への信仰と従順によって歩むときにのみ栄えるのです。神はこう言われました。

「主なるわたしは……地を築いた。これらはまことにわたしの手の業である。そして、その中にある万物はわたしのものである。

わたしが意図しているのは、……必要なものを与えることである。

しかしそれは、わたし自身の方法で行われなければならない。……

地は満ちており、十分にあり余っているからである。」¹²

末日聖徒イエス・キリスト教会は、一貫して墮胎行為に反対してきました。100年以上前に、大管

長会は次のように述べています。「この機会に、わたしたちは再び末日聖徒に対し、……墮胎および幼児殺害を行わないよう警告します。」¹³

スペンサー・W・キンボール大管長(1895 - 1985年)は、大管長に召されて間もないころ、こう語りました。「わたしたちはこれまで、この墮胎に対する教会の立場を繰り返し言明してきました。すなわち、二つのまれな例外を除いてはあらゆる墮胎に反対するということであり、この立場は決して変わりません。二つの例外とは、強姦により妊娠した場合と、資格を持つ医師により、墮胎をしなければ母親の健康に深刻な危険が及ぶという医療的勧告があった場合です。」¹⁴現在、教会の方針として、このほかに二つの例外があります。近親相姦の場合と、資格ある医師により、誕生後に赤ん坊が生き続ける見込みがないと判断された場合です。しかし、これらの例外に該当しても、それが自動的に墮胎を正当化するわけではありません。「当事者はビショップと相談したうえで、祈りを通して神からの確認を得てからでなければ、墮胎を考えるべきではない」のです。¹⁵

養子縁組

ほかの人たちに大きな喜びを与えることのできる命をなぜ絶ってしまうのでしょうか。望まれない妊娠に対処する、さらに良い方法はほかにも存在します。罪深い行いによって命が創造されたとき、自分で悔い改めを始める最も良い方法は、その子供の命を守ることです。すでに犯した重大な罪にさらに重大な罪を重ねても悲しみが深まるだけです。養子縁組は墮胎に代わるすばらしい方法です。養子縁組によって、子供も養父母も大きな祝福を受けるでしょう。子供が家庭に迎え入れられ、愛によって養育されて、福音の祝福を受けることができるのです。

悔い改めは可能

墮胎という行為をした人に希望はあるのでしょうか。そのような罪を犯し、心痛にさいなまれている人に希望はあるのでしょうか。確かにあります！「これまでの啓示によれば、人は墮胎の罪を悔い改めて赦しを得ることができる」のです。¹⁶ わたしたちは、主が、真に悔い改めたすべての人を助けてくださることを知っています。¹⁷

命はかけがえのないものです！無邪気な^{おきなご}幼子を抱き寄せ、美しいひとみを見詰め、小さな指に触れ、^{ほお}頬に口づけするとき、命への畏敬の念、そしてわたしたちの創造主に対する畏敬の念を深めない人はいません。命は命から生まれるのです。偶然の産物ではありません。神の賜物なのです。罪なき命は、奪われるために神から送られるのではありません。命は神により与えられ、当然ながら、神によってのみ取り上げられるべきです。¹⁸ 神が永遠であられるように、命もまた永遠であることを証します。■



養子縁組—— 子供に祝福を与える、愛に満ちた選択

「わたしたちは……父親と母親のいる安定した家庭に、養子縁組を通して自分の子供をゆだねる未婚の親に対する支援を表明します。また、そうした子供を養子として迎え入れる既婚の母親と父親への支援も表明します。

子供は、結婚の誓いに忠実な父親と母親のいる、安定した家庭環境の中で育てられるという祝福を受ける権利を持っています。父親と母親の双方と、安全で、子育てに適した、安定した関係を保つことは子供の福利に欠かせません。養子縁組を選択するとき、未婚の親は、自身の子供にこの最も大切な祝福を与えるのです。養子縁組は、愛に満ちた無私の決断であり、子供にとっても生みの親や養父母にとっても、この世から永遠にわたる祝福となります。わたしたちは、養子縁組を押し進めることによって子供や家族を強める皆さんを称賛します。

大管長会の声明、2006年10月4日付

注

1. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号、49参照
2. *The New Encyclopedia Britannica*, 第15版(1998年), “World Wars, The.” の項参照
3. マリア・チェン, “Abortion Just as Common in Nations Where It’s Illegal,” *Salt Lake Tribune*, 2007年10月12日付, A7参照。合衆国内で年間約300万人から400万人の新生児が誕生するのに対し、墮胎の数は100万件を超えている。つまり、妊娠する3人ないし4人の女性のうち1人は墮胎をしていることになる。
4. 出エジプト20:13;申命5:17;マタイ5:21;ローマ13:9;モーサヤ13:21;3ニーファイ12:21;教義と聖約42:18-19参照
5. 教義と聖約59:6
6. ジョン・カルビン, *Commentaries on the Four Last Books of Moses Arranged in the Form of a Harmony*, チャールズ・ウィリアム・ビンガム訳, 全22巻(1979年), 第3巻, 42
7. 箴言3:5-6
8. 合衆国上院司法委員会に向けたアーバン・M・カシュナー博士の発言, *Constitutional Amendments Relating to Abortion*, S.J.17-19, 110, 第97回議会第1セッション, 1981年, 158参照
9. グリン・H・オークス「もっと重要な事柄」『リアホナ』2000年3月号, 17-20参照
10. J・ウィリス・ハースト他編, *The Heart*, 第4版(1978年), 7参照
11. レビ26:3-13;ヨシュア1:7-8;列王上2:3;列王下18:5-7;歴代下24:20;26:5;31:21;ヨブ36:11-12;1ニーファイ2:20-21;4:14;2ニーファイ1:9, 20, 31;4:4;5:10-11;ジェロム1:9;オムナイ1:6;モーサヤ1:7:2:22, 31;アルマ9:13;36:1, 30;37:13;38:1;45:6-8;48:15, 25;50:20;ヒラマン3:20;3ニーファイ5:22;教義と聖約9:13参照
12. 教義と聖約104:14-17
13. ジョン・テラー, ジョージ・Q・キャン, “Epistle of the First Presidency,” 1885年4月4日付;ジェームズ・R・クラーク編, *Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 全6巻(1965-1975年), 第3巻, 11で引用
14. スペンサー・W・キンボール「報告とチャレンジ」『聖徒の道』1977年2月号, 36参照。「実践の時代」『聖徒の道』1976年2月号, 37も参照
15. 『教会指導手引き 第1部——ステーク会長会およびビショップリック』188
16. 『教会指導手引き 第1部』188
17. エレミヤ31:34;ヘブル8:12;10:17;教義と聖約58:42参照
18. 申命30:20;使徒17:28;教義と聖約88:13;モーセ6:32参照



自分の目が信じられませんでした。
小切手は、ちょうど必要な額で
発行されていたのです。

信仰はありましたが、お金がありませんでした

テオドゥロ・トロコニス

1988年の末、わたしはベネズエラのシウダーオヘダで、ビショップリックの第二顧問としての召しに満足していました。しかし、かねてから気になっていることがありました。教会員になって1年以上がたっていましたが、まだ神殿の祝福を受けていなかったのです。

ある日、近くのマラカイボから友人が訪ねて来ました。話題はやがて霊的な事柄に移っていきました。

不意に友人が言いました。「トロコニス兄弟。天の御父は、あなたが神殿に行き、御父の子供たちに約束された永遠の祝福を受けるよう望んでおられると思います。」

「行けないのです。」わたしは答えました。「ベネズエラには神殿がありませんし、海外へ行くにはとても高い費

用がかかります。わたしにはそのお金がありません。」

友人は少し考えてからこう言いました。「もしほんとうに神殿に行きたいのなら、御父は道を備えてくださいますよ。」

わたしはこう答えました。「御父がそのような助けを下されるなら、わたしは必ず行きます!」

その瞬間から、わたしは神殿に行けるようになるという信仰と希望に満たされました。翌日、ステーキの指導者に電話をすると、彼は当時最も近くにあったペルーのリマ神殿への参入が1月に予定されていることを教えてくれました。旅費は、航空券代、食費、宿泊費を含めて1万6,500ボリバルです。

時は流れ、支払いの期日が刻々と近づいていました。旅費を稼ぐ努力はしていましたが、必要な額には遠く及び

ません。それでも信仰が揺らぐことは決してありませんでした。御父が道を備えてくださるという確信は、それほどまでに強かったのです。

支払期日間際になって、以前の雇用先から電話がありました。電話をかけた人は、わたしの名前を呼んで言いました。「あなたは5年前にうちの石油会社に雇用されていましたが、退職の際の給付金が正しく計算されていませんでした。あなたの名義で小切手を発行しましたので、取りに来てくださいますか。」

翌日、小切手を受け取りに行きました。金額を見たとき、自分の目が信じられませんでした。小切手はちょうど1万6,500ボリバルで発行されていたのです!

1989年1月17日、わたしはペルーのリマ神殿に参入し、自身のエンダウメントを受けました。友人は正しかったのです。天の御父は、わたしが神殿に行くことができるよう道を備えてくださっていました。ニーファイが宣言したように、「人の子らが主を信じる信仰を働かせれば、主は彼らのために、……何でもおできにな[るのです]」(1ニーファイ7:12)。■

すべてはうまくいく

キャンディス・コストン

再検査のために病院へ車を走らせながら、わたしの目は涙でいっぱいでした。2年前に娘を出産した後、わたしは癌と診断

されました。手術と治療を受け、間もなく治療の成果が分かるというときだったのです。「天のお父様、わたしはこの経験から多くを学んできました。どうかこ

の試練を取り去ってください。娘を育て、いつか主人と伝道に出たいのです。どうかわたしを癒してください。」

涙が頬を伝いました。すると突然、わたしの祈りは「子供のいのり」¹という歌の歌詞に替わりました。歌詞を声に出して言うように強く感じました。

祈りなさい

病院まで運転しながら、娘を育て、主人と伝道に出たいことを天の御父に告げました。主が癒してくださるようにと祈りました。



話しなさい
お父様は
聞いています

圧倒されるほどの愛情に包まれました。天の御父はわたしを知り、心配し、耳を傾けておられると感じました。すべてはうまくいくと感じました。

翌日、検査の結果が分かりました。再発の兆候はないとのことでした。とつもなく大きな重荷から解放されたように感じました。しかしその次の日、また医師から呼ばれました。先の結果では問題はなかったものの、血液検査によると、かなり活発な癌細胞がまだ存在していると説明されました。「どうしてこんなことが。」わたしには分かりませんでした。実際にそのようなことが起こっていたのなら、わたしはなぜ御父が祈りにこたえてくださったと感じたのでしょうか。

精密検査を受けながら、わたしは不信心感を拭おうと必死でした。検査の結果、依然として癌であるばかりか、転移しているということも分かりました。車の中での経験は何だったのかと思わずにはいられませんでした。あのとき感じた気持ちは否定できません。しかしわたしは、その気持ちの解釈に疑問を抱き始めました。

癌が転移したという事実は受け入れ難く、わたしは必死になって考えました。そして、この試練からまだ学ぶ必要があるのだと感じました。深く考えるうちに気づいたのは、活発な末日聖徒としてすべきことはすべてしていましたが、それらは習慣化していることが多く、誠実さに欠けていたということです。自分が望む霊的なレベルにはありませんでした。基本に立ち返る必要があったのです。そこで、自分をイエス・キリストにより近づけてくれる事柄

に専念するようになりました。試練を乗り越えるために主から強さを頂く必要があったのです。

より熱心に霊的な事柄に取り組むにつれ、イエス・キリストへの信仰がはぐくまれ、イエスがお持ちの計画を信じる気持ちが強くなりました。病院へ向かう車の中での経験は確かに祈りの答えだったと悟りました。(すべてはうまくいくという)あのときに受けた答えを認めて受け入れることで、御父は必ずしも、どのタイミングで物事を解決するかを明らかにされるわけではないということが分かります。肉体的には完全に癒されないかもしれませんが、わたしは今、主の御心みこころを受け入れることを学んでいます。わたしの人生は、確

かに主の手の中にあるのです。

癌と診断されてから7年がたちました。何度も手術を受け、治療が続いているものの、今も癌を患っています。それでもわたしは生き続けています。そのことに感謝しています。試練とともに祝福が与えられました。次女という祝福も授かりました。何よりも大切なのは、「すべてはうまくいく」という主からの答えが今もわたしを慰めてくれているということです。■

最新情報——(診断から8年がたった)最近の検査の結果、コストン姉妹に再発の兆候はありません。

注

1. 『子供の歌集』6-7

わたしの驚くべき夢

ジェフリー・S・ロー

何年も前、幹線道路で事故に遭いました。体中を負傷し、3か月にわたって昏睡状態こんすいにも陥りましたが、家族の支えや神権の祝福のおかげで、医師が「驚くべき回復」と呼ぶほど元気になることができました。

しかし、脳の損傷によってわたしの短期記憶力は弱まり、夢を覚えていることができなくなりました。目覚めたとき、「ああ、夢を見ていたな」とは思うのですが、その瞬間に夢は記憶から消え去り、決して思い出せないということがよくあるのです。

事故から17年後、わたしはワードのビショップに召されました。ワードの評議会評議会で、初等協会の会長から、ある夫婦をCTRのクラスの教師として召したという提案がありました。驚いたわ

たしは、同じように驚いている顧問の兄弟たちと一瞬間を見合わせてしまいました。

その夫婦は、姉妹の方は毎週ではなくても教会に出席していましたが、兄弟は何年も来ていませんでした。それにもかかわらず、わたしたちは皆、この夫婦に召しを受け入れてくれるか考えてもらうべきだと感じました。

二人と話す前の晩、非常にはっきりとした夢を見ました。翌朝目覚めても、内容を完璧に覚えていました。二人が奉仕の召しを受け入れてくれるよう、面接で何を言えばよいのかについての夢でした。17年ぶりに夢を忘れなかったことに衝撃を受けましたが、それ以上に、夢の内容に胸が躍り、面接がとても楽しみになりました。

その晩、顧問が迎えに来てくれまし

た。面接に向かう車中で顧問の兄弟は言いました。「ビショップ、話すことはすべてあなたにお任せします。」わたしは、自信をもってほほえんだのを覚えています。話すことの要点を主が教えてくださったと感じていたからです。

集うようになりました。数年後、二人は神殿で結び固めを受けました。

今日までの28年間、わたしが覚えているのはこの夢だけです。この夫婦にとっての最良の時を、天の御父は確かに御存じであったと感じます。だから

浸水を止める信仰

ビルッコ・カッシネン

ある春の日のことでした。フィンランドのヘルシンキでは太陽が輝き、雪がどんどん解けていきます。雪解け水が地下室を水浸しにしないよう、息子で8歳のユハ、6歳のハンヌとともに何時間も作業をしました。近くには、たまった水を処理する排水溝がありましたが、このときははまだ凍っていました。

その日の朝、主人は仕事に出かける際、地下室が浸水しないようにしておくよう言いました。わたしたちは一生懸命作業しましたが、午後になってしまいました。初等協会に出かける時間です(当時、初等協会は週日に行われていました)。わたしは息子たちに、地下室に水が入らないよう初等協会を休まなければならないと言いました。教会員ではない主人は、息子たちにとって初等協会がどれほど大切なのか理解してはくれないだろうということも理由の一つでした。

ユハとハンヌは、確信に満ちた様子で、初等協会に行けば天の御父は地下室に水が入らないようにしてくださると口をそろえて言いました。どんだんたまっていく水と、信じて疑わない二人の息子たちを交互に見比べました。自分の中で「地下室を水から守る手だては、自分たちで作業する以外にはない。だから行ってはいけない」という声が聞こえました。心の中で祈りながら、わたしは天の御父に嘆願しました。そして難しい選択をしました。

「初等協会に行きましょう!」バケツを投げ捨てながらわたしはきっぱりと言いました。何があっても、子供たち



ワードのある夫婦に、
召しを受けてもらうための面接をしたとき、
わたしは前日の夜に見た夢のとおり
言葉を覚えていることができました。

夢のとおり面接を進めると、夫婦は召しを受け入れてくれました。その夜、家に向かって車を走らせながら顧問が言いました。「偉大な教師から教えを受けたような気がします。」そのとおりだと分かっていたので、わたしはまたほほえみました。顧問もわたしも、主から教えられていたのです。

その夫婦は、初等協会の務めを献身的に果たし、二人とも教会に活発に

こそ、御父は初等協会の会長に靈感を与え、部分的に壊れたわたしの記憶力が完璧に機能する

ように祝福してくださったのです。主がこの教会の頭として立っておられ、「主のすべての約束が果たされるまで、主の永遠の目的は続く」ことを、再びはっきりと理解できました(モルモン 8:22)。■



の信仰を傷つけたくなかったのです。

初等協会で、息子たちはすばらしい時間を過ごしました。しかしその後、車を運転しながら家に近づくにつれ、不安は大きくなるばかりでした。庭に着くと、息子たちはすぐに地下室のドアへ走って行きました。そして下をのぞいてから、叫びました。「お母さん、ほくたちの言ったとおりだよ。」わたしは急いでドアの所へ行きました。そのとき目に入った感動的な光景を忘れることは決してないでしょう。まるでふき掃除をしたかのように完全に乾いていたのです。どこにも水の跡はありません。40年たった今でさえ、にわかには自分が見たことを信じるできません。

息子たちの目の輝きが、喜びと御父への信頼を映し出していました。わたしの心も喜びと感謝に満たされました。

^{おきなご}幼子のような信仰に勝る力はこの世界のどこにもありません。聖文には、信じて疑わなければ山を動かすことができると書かれています(マタイ 17:20 参照)。あの日、わたしの子供たちの信仰が浸水を止めたのです。■

地 地下室に水が入らないようにする
手だてはないとわたしは思っていました。
しかし息子たちは
逆のことを信じていたのです。

力強く立つ ための18の方法

大 管長会は、青少年への勧告を載せた『若人の強さのために』の冒頭で次のように述べています。「主は皆さんを愛していらっしゃるので、戒めと預言者たちの言葉を与えられ、旅の道し

るべとされました。この小冊子にはその幾つかの大切な生活上の指針が収められています。」(2ページ)
この記事にある教えは『若人の強さのために』にある

標準と原則を実践するうえで助けになるでしょう。これらの標準にしっかりとつかまっていることにより、より幸福な日々を送り、周りの人たちの模範となることができます。

絵/ティリーフ・マーシュ、
その他の説明のあるものを除く

わこうど
若人の強さのために
神への務めを果たす



選択の自由と責任

どのような環境の下に置かれていても、正義と幸福を選んでください。自分の選びに対して責任を取ってください。能力や才能を伸ばし、善いことのために用いましょう。時間を無駄にせず、一生懸命に進んで働いてください。

雲よりも高く

中央若い男性会長

チャールズ・W・ダークウィスト2世

先日、小型飛行機に乗る機会がありました。搭乗の準備をしていると、一人の乗客がパイロットに、どれくらいの高度で飛ぶのか尋ねました。9,500フィート(2,900メートル)だとパイロットは答え、それからこう説明しました。「ちょうど雲の上の高さになります。雲より下だと、かなり不安定な飛行になります。ですが、雲を抜けて上まで行けば、はるかに安定した飛行ができるのです。」

この言葉はほんとうでした。雲の上に出るまで飛行機は揺れ、より燃料を使い、乱気流に遭いました。しかし一度乱気流を抜けると、ほとんど揺れもなく飛べるようになりました。少しの間気流が乱れることもあり、パイロットは常に飛行状態に注意する必要がありましたが、飛行はずっと快適になったのです。

後でパイロットの言葉について考えました。「雲を抜けて上まで行けば、はるかに安定した飛行ができるのです。」これは人生にもよく当てはまると思いました。死すべきこの世で、末日聖徒として生活するには、多くの卑劣なもの、不道德、悪から抜けなければなりません。そうすれば御霊を受け、わたしたちのために用意された平安を受けることができます。周囲の乱気流を抜けて上まで昇るには努力が必要です。強い意志が必要です。勇気が必要です。正しい選択をすることが必要です。この乱気流には、わたしたちを取り巻くメディアの中の汚れも含まれます。落胆や絶望、「生まれながらの人」(モーサヤ3:19)が直面するあらゆる課題も含まれています。

しかし、選択の自由を正しく使い、

『若人の強さのために』を通して大管長会から与えられた標準に従って生活し、この世的な事柄を克服したいと意識しながら毎日努力すれば、この世での飛行は、はるかに快適になるでしょう。飛行中も平安を保ち、安全に目的地に着くことができるのです。

何事も起こらず、心配のまったくない飛行になるということではありません。そのような保証はありません。そのような保証はありせん。飛行中には困難に遭遇しますし、目的地に着くまで絶えず警戒し、注意していなければなりません。しかし、主の側にいることを選ぶなら、現世での誘惑に勝つことができ、それによってこの世だけでなく次の世でも平安と幸福が約束されるのです。



感謝

すべての行いや言葉に感謝の気持ちが宿るようにしてください。受けている祝福について神に感謝してください。
あなたを助けてくれる人に対し、感謝の気持ちを表してください。

「わたしたちは実にすばらしい時期に、地上に生を受けています。無限の機会が与えられています。確かに今の世の中には悪いこともあります。良いこともたくさんあります。例を挙げれば、よく教える教師、自分の召しをよく果たす人、実り豊かな結婚生活を送っている人々、犠牲を払う親、力になってくれる友人などです。

否定的な思いにとどまらず、心の内に感謝の精神を培っていけば、自分自身を、そしてほかの人をも高めることができ

ます。恩を忘れることを重い罪のうちに数えるとするならば、感謝することは、最も貴い徳の中に数えることができます。……



……わたしたちの主、救い主なるイエス・キリストに感謝をささげましょう。主のすばらしい福音は人生最大の疑問に答えを与えています。『人はどこから来たのか。』『人はなぜ地上にいるのか。』『死んだ後、わたしの霊はどこへ行くのか。』

トーマス・S・モンソン大管長「感謝の心」『リアホナ』
2000年5月号、4、8参照

教育

この世で良い影響力を発揮できるよう備えてください。
教育を受け、学ぶ意欲を持ってください。セミナーに出席してください。

将来の計画

モニカ・サントス・デ・オリベイラ

伝 道に出ていたわたしは、仕事の面でいろいろと希望を抱きながら帰還しました。以前に働いた経験はありましたが、資格は何も持っていませんでした。仕事を見つけるためにできることは何でもしましたが、満足のいく仕事が見つからず、将来の計画は行き詰まってしまいました。

ずっと学校に行きたいと考えていましたが、学費を払うのは難しく、家族も援助できる状況にはありませんでした。

永代教育基金が導入されたことを聞いたとき、自分の将来を変えるチャンスだと感じました。天の御父に頼り、助けを求めました。そして、神の霊感によって専門分野を選びました。

わたしが選んだのは看護でした。学ぶことは山ほどあり、必死で勉強しなければなりませんでしたが、わたしは看護の勉強に夢中になりました。卒業から3か月後、ブラジルのアラゴアス州で最も良い病院に就職できました。

将来の計画はたくさんあります。看護について、さらに高いレベルで学びたいと願っています。また、ほかの人が教育を受け、その結果として祝福を受けられるよう、基金への返済を始めました。



家族

幸せな家庭を築くために、
自分の役割を
果たしてください。
親を敬い、弟や妹、
兄や姉との関係を
強めましょう。

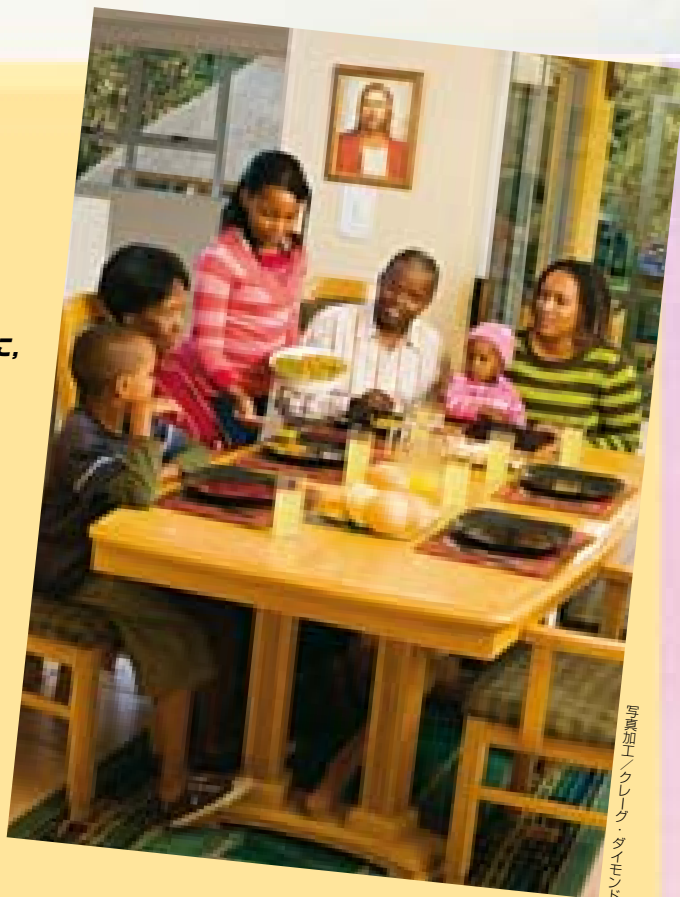
大 管長会と十二使徒定員会は次のように宣言しています。「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るとき

に達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとりて確立され、維持されます。」¹

不思議なことに、世の中の人々は、天の御父が示された幸福の計画に基づき、これらの簡潔な真理を聞いて驚くことがあります。しかし、最近の研究から、教会外の青少年も霊的な事柄や家族関係の中に幸福を見いだしていることが分かりました。2007年、合衆国にある二つの大きなメディア機関が、12歳から24歳までの若人にアンケートを行い、どのようなことに幸福を感じるか調査しました。

研究で明らかになった事柄のうち幾つかを紹介しましょう。

■ 青少年は「安心感と幸福感を得るうえで親を欠かせない存在ととらえて



写真：アムステルダム・タイムズ

おり、頼っている。」

■ 「霊的な事柄や信仰を通して幸福を求める青少年が増えている。」

■ 「青少年は、かつてあった伝統的な家族形態に関心を示しており、そうした関心は今後高まることが予想される。」

研究のまとめの中に次のような言葉がありました。「この最初の研究の結果、現代の青少年が前の世代と比べて伝統をより重んじていることが判明した。また驚くべきことに、結婚して家族を持つことを心待ちにしている青少年が数多くいることも判明した。」²

注

1. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号, 49
2. Associated Press/MTV Research and Strategic Insights, *Happiness*, 2007年8月20日付参照

友達

高い標準を共有できる友達を選んでください。
親切に、尊敬の念をもって
すべての人に接しましょう。
同じ信仰を持っていないあなたの友達を、
教会の活動に招待してあげてください。
新会員やあまり活発でない人々に
助けの手を差し伸べてください。

わたしだったかもしれない

匿名

7歳のとき、近所に引っ越して来た女の子と友達になりました。二人とも同じものが好きで、良い影響を及ぼし合っていました。親から賢明な選択をするよう教わっていたので、わたしたちは良いことを選んでいました。

ところが6年生になると、間違った選びをするようになりました。もっと低い標準を持つ友達に受け入れてもらうためでした。次の年、わたしは友達を変える決意をしました。より高い標準を守って、再び良い選びができるようになるためです。唯一の問題は、7歳のときからの付き合いだった彼女とわたしがまだ友達で、自分でも一緒にいるのをやめたくないと思っ



ていたことでした。

すべきことは分かっていたのですが、実行するのは大変でした。良い友達を選んで高い標準を持つよう、これまでずっと教えられていました。ですが、どうしてそれが大切なのかという証あかしがなかったので、その教えは正しいと信じるしかありませんでした。夏の間、そして8年生になってから、わたしたちは前より一緒にいることが少なくなり、二人は別々の方向に進んで行きました。

その年の後半、この決断のおかげで祝福を受けました。前に仲良くしていた友人たちが学校にアルコールを持って来ることにしたのです。ほかの女子にも飲むように勧め、皆処分を受けました。もしかしたら、自分もその中にいたかもしれないと思いました。もし彼女たちと一緒にいたら、自分の信じることを守り抜く強さを持ち続けられたかどうか分かりません。

自分が直面していたかもしれない結果について考えると圧倒されそうになります。依存症に苦しみ、法律を犯し、両親の信頼を失い、何よりも天の御父がわたしに寄せてくださっている信頼を裏切っていたかもしれないのです。

高い標準に従って生活するようと預言者が勧めるのは、わたしたちを守るためであるということを知っています。窮屈に思えるかもしれませんが、標準に従うことは霊的、肉体的、精神的に、そしてまだ気づいていない面でもわたしたちを助けてくれるのです。



服装と外見

慎み深い服装をすることで、神と自分自身を尊んでいることを示してください。

どのような場合にも決して服装の標準を下げないでください。

入れ墨を彫ったりボディー・ピアスを着けたりして、自分の体を傷つけてはなりません。

母とのショッピング

レベッカ・リヒター

母と買い物をしていたときのことです。黒いスカートを見つけました。わたしはどうしても欲しくなり、試着して母に見せると、母は少し躊躇ちゆうちゆうしてからこう言いました。「ベッキー、ちょっと短すぎると思うわ。」わたしはそう思わないと答え、母を納得させるため、学校ではみんな同じようなのはいているし、中にはもっと短いスカートの子もいると言いました。数分間、母がこのスカートを気に入るよう説得を試みました。

それでも、母はきっぱりと言いました。「短すぎるわ。このスカートは買いません。着替えていらっしやい。」

どうして母がそれほど厳しく言うのか理解できませんでした。どの服を着るかは自分で判断できる年齢だと思っていたので、ますます理解に苦しみました。楽しいはずの母とのショッピングは台なしになり、二人とも黙ったまま車で家路に就きました。

ついに母が口を開きました。「ベッキー、あのスカートを買わないように言ったのはね、あなたらしく見えなかったからよ。あのスカートは短すぎて、あなたがだれなのか分からなかったわ。あなたは神の娘なのよ。」

母が教えてくれた原則を一生忘れないでしょう。わたしは神の娘であり、自分自身のことをどう思っているか、そして天の御父と救い主についてどのように感じているかを行動や服装で示しているのです。

慎み深い服装をするのはなかなか大変ですが、あきらめて標準を下げなかったことをうれしく思っています。自分が神の子供であると真に理解できるようになれば、世の中の標準に合わせた服装をしたいという望みを克服できるということが分かりました。





娯楽とメディア

自分を高める娯楽を選んでください。いかなる形であれ、下品で、不道徳で、暴力的な娯楽、また、わいせつな娯楽は避けてください。神の標準を守る決意をしてください。

わたしたちは、あまりにもたくさんさんの娯楽に囲まれています。どのような娯楽を選べばいいか、見当もつかないかもしれません。心を高めてくれる娯楽を選ぶうえで助けになる指針を紹介しましょう。

1. テレビゲームをしたり、映画を見たりする前に、年齢指定や内容をよく調べる。
2. 年齢指定に問題がなくても、ふさわしくない内容がそのゲームや映画に含まれていないか自問する。御霊を

遠ざけるものは何であっても避ける。

3. もし内容がふさわしくなければ、躊躇ちゅうちよせずにその場を離れ、スイッチを切り、手から離す。
4. 人を高め、ためになるゲーム、映画、音楽を探す。
5. ハイキングやサイクリングをしたり、新しい技能を習ったり、ほかの文化について学んだりするなど、テレビ、携帯電話、パソコンを離れた活動をする。
6. 頭を働かせ、体を元気にしてくれる活動を楽しむ。

メディアを選ぶときに指針となる神の標準は何でしょうか。「どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値することがあれば、わたしたちはこれらのことを尋ね求めるものである。」(信仰箇条 1 : 13)

音楽とダンス

天の御父に近づくのを助けてくれる音楽を聴きましょう。不道徳を奨励し、暴力をたたえ、攻撃的な言葉を使っている音楽は聴かないでください。

踊りながら相手と全身を接触させたり、挑発するような動きをしたりするのは避けましょう。

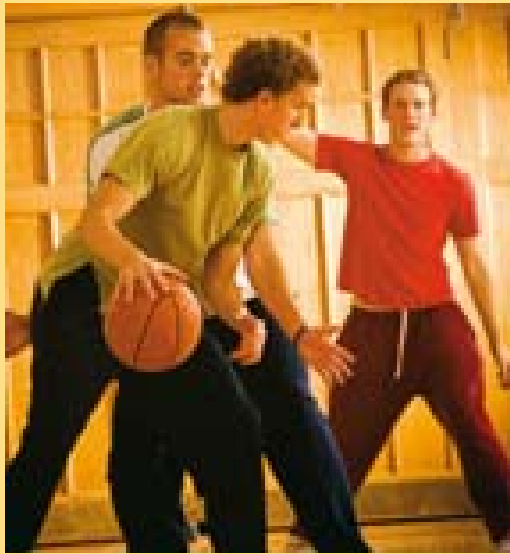
「若人の皆さん、現代のふさわしくない音楽で心を満たすようなことがあってはなりません。これは危険なことです。そうした音楽は心の舞台にふさわしくない考えを招き、その考えはふさわしくない音楽が流すリズムとテンポによって踊るのです。そうすると皆さん自身もそれに合わせて行動しかね

ません。だらしない服装をさせたり、不遜な態度を執らせたり、不道徳や、何らかのものへの依存症を引き起こしたりすることもある激しい音楽に触れていると、皆さんの品位も落ちていきます。そのような音楽は、皆さんにふさわしくありません。」

十二使徒定員会 ボイド・K・バックー会長
「価値ある音楽、価値ある思い」
『リアホナ』2008年4月号, 33



“<http://www.lds.org/churchmusic>”では、賛美歌を聴いたり、曲をダウンロードしたり、音楽についてさらに学んだりすることができます。



言葉遣い

人を高め、カづけ、称賛する言葉を使ってください。

神とイエス・キリストの名を敬虔に、敬意を込めて用いてください。

神聖さを汚す野蛮で粗野な言葉を使ったり、しぐさをしたりしないでください。

「会」話は人間同士の親しい交わりの基となるものです。明るく楽しいものにすることもできます。またまじめなものにすることもできますし、おもしろいものにすることもできます。しかし、ほんとうにキリストを信じていると言う人は、俗悪で下品な話をしたり、汚れた言葉を口にしたりしてはいけません。……

そのような言葉しか使えない人は、あまり言葉を知らないということさらけ出しているようなものです。そのような人は、汚れた言葉遣いをしなくても効果的に表現する方法があることを知らないのです。……

汚れた言葉や神を汚す言葉を絶対口にしないでください。下品な冗談も避けなければなりません。人と話すときに、そうした言葉を口にしていけません。そうすれば、皆さんはより幸福になり、模範を通してほかの人々を強めることができます。」

ゴードン・B・ヒンクレー(1910-2008年)
「主の名をみだりに唱えてはならない」
「聖徒の道」1988年1月号, 51 参照

前ページ上—絵/キャリー・ヘンリー。前ページ下—絵/スコット・グリアー。
上—写真/マシュー・ライアー。右上—絵/ライアン・ストーカー

デート

少なくとも16歳になるまではデートをしないでください。

高い標準を持つ人とだけデートしてください。

デートを始めるときは

グループ交際かダブルデートにしましょう。

主の御霊に近くあることができるような活動を計画してください。



「ひょっとして、初めてのデートでしょう?」

最良のグループ交際は、よく計画されていながら堅苦しくなく、費用をかけなくても楽しいものです。独創的なデートを考えてください。いろいろな事ができ、楽しみながら人と知り合える活動が好ましいでしょう。グループ交際のアイデアを両親や友達、青少年の指導者に尋ねてください。まず、次のようなデートから始めてみるのもいいでしょう。

■ 近くの菓子工場、チーズ工場、または地元にあるおもしろそうな場所を見学する。

■ 持ち寄りの夕食会を企画する。料理や材料を割り振り、持って来てもらうようにする。

■ 地元の公園で鳥にえさをあげたり、散歩をしたり、フリスビーをしたり、自転車に乗ったり、ピクニックをしたりする。

■ 博物館、水族館、動物園などに行く。新聞やインターネットで無料券や割引券がないか探してみる。

■ デートで奉仕活動をする。近所の人のために落ち葉を集めたり、窓をふいたり、役に立つことをしたりする。

■ 静かな夕べを過ごしたい気分なら、地元の図書館や本屋に行き、一緒にいろいろな本に目を通してみる。

■ 雪の多い地域に住んでいれば、手の込んだ雪だるまを一緒に作る。海辺に住んでいれば、砂の城を作る。あるいは別々に作り、通りかかった人にどちらが上手か見てもらう。



性的な清さ

**性的な清さを保ってください。結婚する前にどのような性的な関係も結んではなりません。
性的な思いを刺激する会話や活動に加わらないでください。同性愛行為に加わってはなりません。
もし強姦、近親相姦、そのほかの性的虐待の犠牲になったら、助けを求めてください。**

「肉」体的な交わりに関しては、絶対に待たなければなりません。すべてを与えることができるようになるまで待たなければならず、法律と律法に基づいて結婚するまではすべてを与えることができないのです。もし天の承認を受けないままに肉体的な満足を追い求め続けていると、後になって、

真実の愛を知ったときに、肉体的な交わりを求める気持ちも、心から献身する気持ちもともに失ってしまうという、霊的にまた精神的に大きな苦痛を味わうことになりかねません。そのような人は、大切にしておけばよかったものを失ってしまったこと、軽い気持ちで捨て去ってしまった徳を回復するには神の恵みによる

しかないという事実を知って、言いようのない恐怖を味わうのです。結婚式の日^{ほんりよ}に永遠の伴侶にささげることのできる最良の贈り物、それは最良の自分自身、つまり清らかで、純粋な自分、そのような清さを伴侶から受けることのできるふさわしさです。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホランド長老
「個人の清さ」『リアホナ』2000年10月号、42

悔い改めは 強力な石けん



清いって最高の気分(イザヤ1:18参照)

悔い改め

あなたが悔い改めるとき、救い主の贖罪によって赦しを受け、罪から清めていただくことができます。
主と、悪いことをしてしまった相手に罪を告白してください。
重大な罪を犯したときは、ビショップにも告白する必要があります。

「わたしたちは、清い手と潔い心の両方を持てるよう真心から願うべきです。つまり、日々罪の赦しを受けることと神の御前に罪なく歩むことの両方です。手が清いだけでは、主の御前に立つには不十分です。主は、その心が潔く、『きずも、しみもない小羊のような』御方であって(1ペテロ1:19)、わたしたちのためにその尊い血を惜しむことなく流されたのです。」

十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老
「手が清く、心のいさぎよい者」『リアホナ』2007年11月号, 82

正直

自分自身に対して、人に対して、主に対して
正直であってください。

不正直は悪いことではないと正当化しないでください。

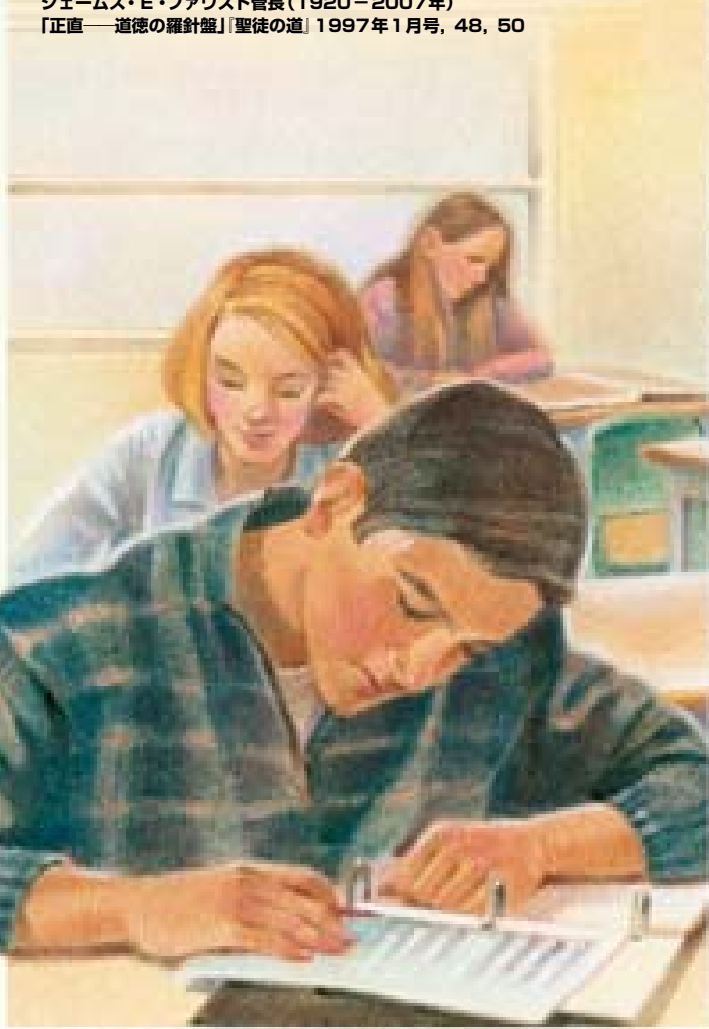
「正直とはうそをつかない以上のことです。それは真理を告げ、真理を語り、真理に生き、真理を愛することです。……

カンニングは自分を欺くことです。学校は学ぶためにあります。人の努力や学問の成果を楽して手に入れるのは、自分を欺くことです。……

あらゆる種類の盗みが世界中に蔓延しています。……盗みには様々な形があります。万引き、車やステレオ、CDプレーヤー、ビデオゲーム、そのほか人の所有物を取る、仕事をさぼって雇い主から時間を盗んだり、雇用先の金銭や商品を盗むこと、……返すつもりがないのに借りることなどです。盗みによって価値あるものを得た人はいません。……

何か盗むことは、神権者にふさわしくありません。」

大管長会第二顧問
ジェームズ・E・ファウスト管長(1920-2007年)
「正直——道徳の羅針盤」『聖徒の道』1997年1月号, 48, 50



安息日を守る

主を礼拝し、教会に出席し、家族とのきずなを強め、人を助けるために安息日を用いてください。

安息日に娯楽を楽しんだり、お金を使ったりすることは避けましょう。可能なときは、日曜日に働くことを避けてください。

わたしはどこにいるべきでしょうか

エマ・ウィザース

日曜日、教会に行く気にならないことはありませんか。わたしにはあります。特に最近はそのようでした。わたしは南アフリカのケープタウンにあるワードに転入したばかりでした。ワードの人が優しくないわけでも、歓迎してくれないわけでもありません。ただ、慣れ親しんだ友達ではないというだけのことなのです。

初めてワードに出席した後、これからは聖餐会にだけ出席しよう決めました。次の週は遅刻して行きました。礼拝堂に入ると、ほんのわずかな人からあいさつされ、席に着きました。座っていると、前のワードがとても恋しくなりました。あのワードに戻り、わたしのことを知っている仲の良い人たちに会いたくてたまらなくなったのです。

最初の話者が立って話し始めました。まるでわたしに向けて語っているようでした。初めて訪問した町で孤独だったことについて話して

いて、そのように感じるのはわたし一人ではないことがわかりました。二人目の話者も、わたしにとって特別な意味を持つ話をしてくれました。集会が終わる前に、ビショップは立ち上がってわたしたち一人一人をどれほど愛し

教会の集会に出席しようと心に決めることは、安息日を聖く保つうえで最も大切な決断です。

ているかを伝えてくれました。自分を頼ってくれる人を助け、大切にしたいと話していました。

閉会の賛美歌を歌いながら、自分のいるべき場所はここであるとわかりました。このような穏やかな気持ちは久しぶりでした。この気持ちは天の御父が下さったのだとわかりました。御父はわたしたち一人一人を知っておられます。一人一人の必要を御存じなのです。その日、御父はわたしに必要なものを下さいました。御父の戒めを守り続けるなら、御父は引き続きわたしの必要を満たして下さることを知っています。



主に従う決意のしるし



「〔若い〕ころ、安息日にふさわしい活動にはどのようなものがあるのだろうかと考えました。ほかの人が作った『すること』と『しないこと』のリストを読みました。しかし今は、はるかによく分かります。旧約聖書の二つの聖句から学びました〔出エジプト31：12-13；エゼキエル20：12、19-20参照〕。……

これらの聖句について深く考えたおかげで理解することができまし

た。安息日の振る舞いで、わたしは自分が主を尊んでいること、そして主と交わした聖約を尊んでいることを主に示しているのです。……わたしが得た結論はこうです。安息日に何かを行うとき、主に従うという自分の決意がそこに表れていると自信をもって言えるのであれば、その行動は安息日にふさわしいのです。」

十二使徒定員会 ラッセル・M・ネルソン長老
"Reflection and Resolution,"

Brigham Young University 1989-90 Speeches (1990年), 6で引用

什分の一と献金

完全な什分の一を、自分から進んで納めてください。什分の一面接を受けてください。断食の律法を守ってください。

ぼくは祝福を受けたいです!

教会機関誌

リチャード・M・ロムニー



南 アメリカ北部に位置するガイアナで、10代の末日聖徒が什分の一と献金について話し合っています。

ジョージタウンにあるブラシャド・ナガルの集会所で開かれたセミナーのレッスンで、14歳のシメオン・ロベルは言いました。「ぼくは祝福を受けたいです!」クラスではたった今、マラキ書第3章8節から12節を読んだところです。什分の一を納めずに神のものを盗む人はのろわれると警告されていますが、什分の一を納める人々は計り知れない祝福を受けるという約束も書かれています。

一緒に学んでいる16歳のシアン・キップスもこう言っています。「何が約束されているか見てください。守られ、繁栄します。天の窓が開かれるのです。」

(同じくジョージタウンにある) ガーデンパーク第2支部に所属

する17歳のクリント・カレンダーはこう語ります。「地上のあらゆるものは天の御父から与えられています。わたしたちが感謝を示せるように、御父は、そのほんの一部をお返すように求めておられます。ですから、什分の一を納められることを、また毎月1度断食して、貧しい人々の必要を満たすために寄付できることをうれしく思います。津波やハリケーン、そのほかの災害が起きたとき、

教会は、衣類や食糧を提供するなどいろいろなことをしています。惜しみなく献金することで、自分も教会の援助にかかわっているのだと思うとうれしくなります。」

今度は、西インド諸島伝道部にあるトリニダートのポートオブスペインという町に行ってみましょう。アリマ支部に集う

17歳のカフュー・アリガ、同年のマーク・マンガレーに、稼いだお金がほんの少しでも、収入の10パーセントを什分の一として納め、断食献金も納めていると話しています。「そうすることで、主から祝福を頂けるようになるわ。」彼女はマークに什分の一面接について説明し、完全な什分の一を納めていると言えるとき、どれほどすばらしい気持ちになるかを伝えています。

マークは白紙の献金票を眺め、読んでから、こう言いました。「カフュー、君の言うとおりだね。明日ぼくは教会に什分の一を持って行くよ。」





身体 の 健康

知恵の言葉を守りましょう。栄養のある食物をとり、定期的に運動し、睡眠を十分にとってください。

違法な薬物、アルコール性飲料、コーヒーや茶のたぐい、たばこ製品に手を出してはなりません。処方薬や市販薬を乱用してはなりません。

肉

体を健康に保つことは生活のストレスに対処するうえで役立ちます。知恵の言葉を守るとき、天の御父はすばらしい祝福を与えると約束しておられます。

「これらの言葉を守って行うことを覚え、数々の戒めに従順に歩むすべての聖徒たちは、そのへそに健康を受け、その骨に髓を受けるであろう。

また、知恵と、知識の大いなる宝、すなわち隠された宝さえ見いだすであろう。

また、走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。

また、主なるわたしは彼らに一つの約束を与える。すなわち、滅ぼす天使はイスラエルの子らを過ぎ越したように彼らを過ぎ越して、彼らを殺すことはない。」(教義と聖約89：18-21)

知

恵の言葉で、してはならないことは知っていますね。では、すべきことは知っていますか。教義と聖約第89章10節から17節を読んで見つけてみましょう。

人々への奉仕

教会の責任、家庭、学校、地域社会などで人々に奉仕しましょう。

奉仕の必要な相手と、その人の必要を満たすうえで助けになる方法が分かるよう、聖霊の導きを毎日求めてください。

ニヤミン王はこう教えました。「あなたがたが同胞のために務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務めるのである……。」(モーサヤ2：17) 奉仕する方法はたくさんありますが、大切なのは誠実さと愛です。どのように奉仕できるか、ヒントと提案を紹介します。

1. 家族への奉仕が第一であることを忘れない。
2. 相手の必要に合わせて奉仕する。

その人が好きなこと、求めていること、必要としていることについて考える。

3. 奉仕は無理のない、簡潔なものにする。ほかの人も誘って計画し実行する。

4. 笑顔、明るい態度、話を聞く耳、心から褒めること、人知れず行う親切も大切な奉仕になる。

5. モーサヤ書第4章21節にある勧めを覚えて応用する。惜しみなく与える。



信仰をもって 前進する

主と主の教会に忠実であってください。

独りになれる所で定期的に祈り、聖文を読みましょう。

聖約を守り、御霊のささやきに耳を傾けてください。

主は、あなたが試練や問題に取り組めるよう
助けてくださるでしょう。

世界は皆さんに注目しています

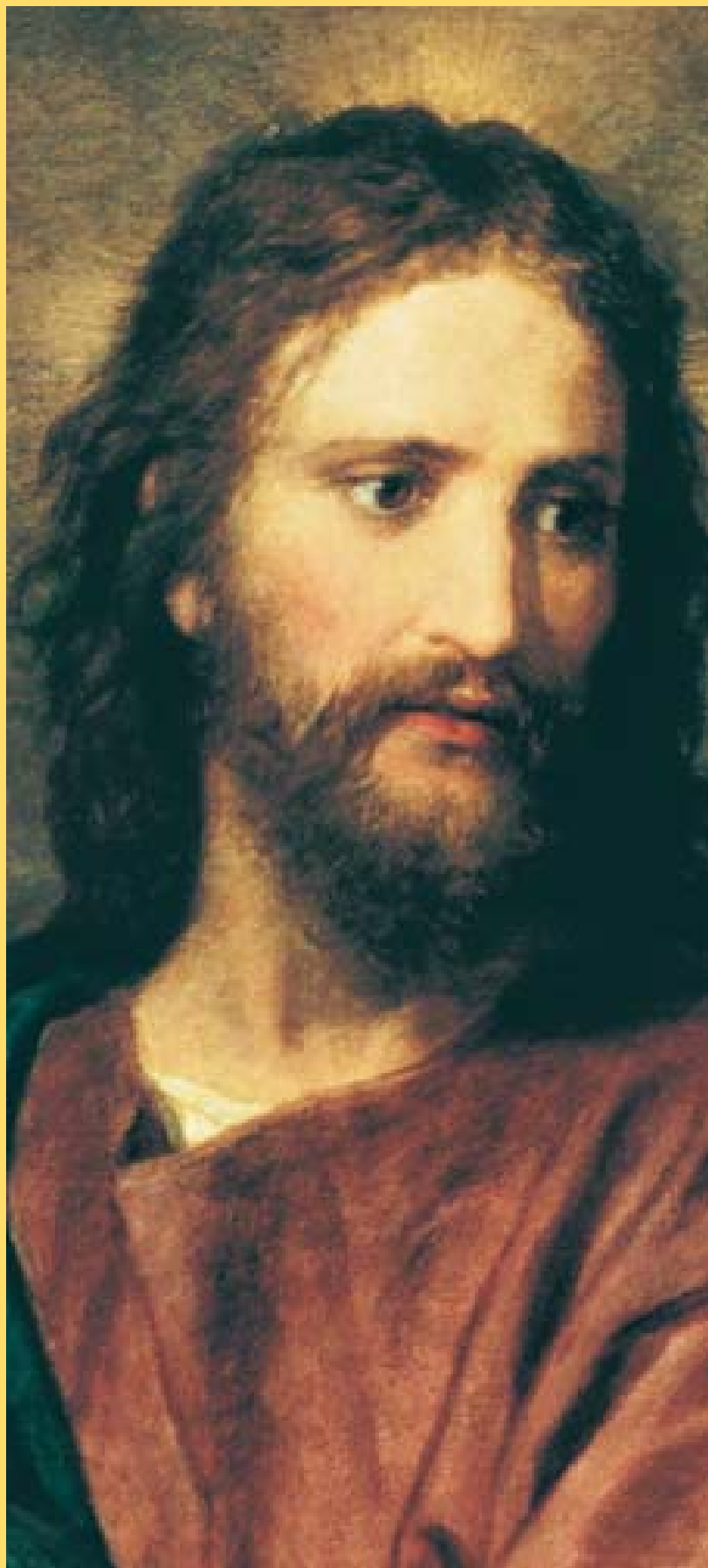
中央若い女性会長会

今こそ信仰をもって前進する時です。神の戒めを守る時です。信仰を働かせてよく祈り、従順になる時です。信仰を働かせてこれらの標準を完全に守るとき、皆さんは幸せになります。そして福音や自分の信じていることを人に伝える機会が増えるでしょう。これらの標準に従った生活は皆さんを縛るものではありません。自由にしてくれるのです。

信仰をもって前進するなら、皆さんは約束された祝福を刈り取るでしょう。そして主は、皆さんに御霊を注いでくださいます。導きを与える御霊とともにいるなら、皆さんはあらゆる状況にあつて、何をすべきか、どのように対応するべきかが分かり、いつも主を覚えるというバプテスマの聖約を守ることができるでしょう。

いつの時代でも、指導する立場にある若人は、信仰を働かせることと、完全に従順であることが求められてきました。ニーファイ、ジョセフ・スミス、ルツ、そのほか多くの人たちは、信仰をもって行動し、主と預言者に従いました。

皆さんは高貴な生得権を持つ青少年、偉大な世代、預言されていた世代です。善良さと光を求めているこの世界は、皆さんの信仰によって大きく変わるでしょう。模範と指導力を必要としているこの世界は、皆さんに注目しています。ですから、「あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるように〔しましう。〕」(マタイ5:16) ■



「クリスマスの贈り物」デール・キルボーン画、複写は禁じられています。
「キリストと若い金持ちの役人」の一部、ハインリッヒ・ホフマン画。
©・ハリソン・コンロイ社の厚意により掲載

木馬に 気をつけなさい



七十人
ケネス・ジョンソン長老

教会の活動に
高い標準が
設けられているのは
なぜでしょうか。
それは、
悪い影響によって
内側から
攻撃されるのを
防ぐためです。

皆さんは、周囲の状況が人の行動にどれほど影響し、振る舞いを変えることがあるか、気づいたことがありますか。まだ若く、大学生だったころ、ある講師との討論に参加したことを思い出します。その講師は、環境が職場での仕事効率に与える影響についての研究を紹介しました。社員がやる気を増し、より勤勉に仕事をしたいと思わせるような環境がある一方で、逆の効果をもたらす環境もあるという調査結果について話してくれました。わたしは、一見さほど大きな要素とは思えないことが、それほどの影響力を持つという考えに大変興味を持ちました。

講師は、ある実験についても話しました。何人かのグループが、おいしそうな食事の載ったテーブルに着いています。全員がおなかをすかせており、だれもが早く食べたいと言っていました。部屋の照明を変えることで、彼らの食欲に劇的な変化が起こります。照明が変わると、驚いたことに被験者の多くは食事にまったく手をつけず、手をつけた被験者もほとんど食べなかったのです。おいしい食事を楽しんだ人はだれもいませんでした。

部屋の照明が変わったというだけで、おいしそうだった食べ物の魅力が失ってしまったという

事実は、人の振る舞いが周囲の環境に左右され、影響を受けるという可能性を示しています。

それから何年もたち、保険の仕事に就いたわたしは、ある顧客のところに出かけました。その人が新たに始めようとしている事業にかける保険を紹介するためです。到着して分かったのは、その事業がナイトクラブだということでした。

ロビーを抜けてホールに入ると、内装のすばらしさに感心しました。家具、装飾品、カーテン、じゅうたんがお互いをよく引き立てていて、大変心地よい雰囲気をかもし出していたのです。店舗が何の目的で使われるかを聞いたときに、このような内装は想像していませんでした。オーナーと一緒に腰かけ、保険の内容について話し合っていると、従業員がやって来て、音響や照明装置のテストをしてもよいかと聞きました。

オーナーはかまわないと言いました。突然、照明が小さくなったかと思うと、静かだった部屋の様子は、色とりどりの閃光と大音響の音楽とで一変してしまいました。一瞬のうちに静寂が破られたのです。

これでは話もできないので、わたしたちはロビーへ戻りました。その後の話し合いと、先ほどの経験から判断して、この話を進めることに良い気持ちを感じなかったわたしは、この業界で経験の豊かな専門家を紹介しました。暗い部屋を貫く光線と、大音響でビートを刻む音



標準を
引き上げて
この世の
影響を押し戻しましょう。
そして一人一人が
健全な活動を計画して
参加することを
決心しましょう。
偉大な
幸福の計画の中で
約束されているとおり、
標準を
引き上げることで、
わたしたちの行う
活動は
いつまでも記憶に残る
楽しい思い出
なるでしょう。

樂が起こした劇的な変化を、今でも鮮明に覚えていてます。

こうした経験から、わたしは忘れ難い教訓を学びました。周囲の状況は、確かにわたしたちの感じ方、振る舞い方に重大な影響を与えることがあるのです。

これは、教会の活動は主の御霊の^{みたま}とどまる環境で行うようにと指導者が勧告する理由の一つです。この勧告について考えてください。次に、教会の活動について考えてみましょう。健全で心を高める教会の活動を行うという主の目的を果たすために、わたしたちは何ができるでしょうか。

トロイの木馬

青少年のころから、わたしはトロイの木馬というギリシャの伝説にとても興味を持っていました。トロイの町を10年間も^{ようさい}包囲していたにもかかわらず、難攻不落の要塞に攻め入ることができなかつたギリシャ軍の話は、恐らく皆さんも覚えているでしょう。

やがて、ギリシャ軍は引き上げるふりをして、木でできた大きな馬を残して行きます。しかし木馬の中には、攻撃態勢を整えた兵士の一団が隠れていたのです。トロイの人々は、その馬を良いことの前兆だと信じ、忠告する人がいたにもかかわらず木馬を城壁の内側に運び入れました。夜になり、隠れていたギリシャの兵士は外に出ると町の門を開き、トロイの町は、なだれこんで来たギリシャ軍に征服されてしまいました。

わたしたちも、防御を突破して^{たくら}信仰の盾を破壊しようと企む力に用心しなれ

ばなりません！わたしたちの家庭と礼拝の場所は、ふさわしさに欠けるこの世の事柄が引き起こす嵐からの避け所となります。こうしてわたしたちは、「確固として揺らぐことなく、いつも多くの善い行いをして」(モーサヤ5:15)、いつも「聖なる場所に立[つ]」ことができるのです(教義と聖約45:32)。

用心を怠っていると、不健全な音楽や不適切な活動にみすみす身をさらして、霊的な感受性を失う人が出てくるかもしれません。そのようなことを許していると、かつては難攻不落だったとりに木馬が運び込まれたように、わたしたちも内側から攻撃を受けるかもしれません。

活動の計画を立て、準備をするとき、この世の流行をまねたり、それを追ったりすることを目的としてはなりません。主の御霊のとどまる環境を整えることを目的とすべきです。この原則は、時と場所にかかわらず、教会が主催するすべての活動に当てはまります。どの映画を鑑賞し、どのコンピュータープログラムを閲覧し、どの娯楽活動をするかを選ぶときにも、この原則を指針とすべきです。教会の建物で行事を行うときには、特に考慮が必要です。なぜなら、わたしたちが活動を行っている教会は「徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値すること」のために奉獻され、聖別されているからです(信仰簡条1:13)。

もし救い主が、教会の集会所で行われている活動に出席されるとしたら、エルサレムの神殿から両替人を追い出されたときと同じ

ようなことをされるでしょうか(マタイ21:12-13参照)。それとも、^{へんぼう}変貌の山で「わたしたちが、ここにいるのは、素晴らしいことです」





と言ったペテロと同じように感じていただけるでしょうか(マタイ17:4)。

ゴードン・B・シンクレイ大管長(1910 - 2008年)が専任宣教師の資格に関して与えた勧告は、このテーマにも当てはまります。「伝道に出る資格を厳しくすることによって、教会の若人、特に若い男性は、自制心を養い、世の中の低い標準よりもはるかに高い標準に従って生活し、罪を避け、あらゆる活動において高い標準を保つ〔ようになると確信しています。〕」¹

この言葉を忘れず、標準を上げてこの世の影響を押し戻しましょう。そして一人一人が健全な活動を計画して参加することを決心しましょう。

この方法では、せっかく皆で集まっても満足できる活動にならず、楽しい気持ちを表現できないと考える人はいませんか。そのようなことはまっ

たくありません。実際はその逆です。偉大な幸福の計画の中で約束されているとおり、標準を引き上げることで、わたしたちはいつまでも記憶に残る楽しい経験ができるでしょう。■

注

1. ゴードン・B・シンクレイ「伝道活動」『世界指導者訓練集会』2003年1月、17



「友人とわたしには、うわさ話をするという問題があります。そのようなことを自分がかもうしないように、そして友人もやめられるように助けるにはどうしたらよいでしょうか。」

『若人の強さのために』には、汚れた言葉遣いを克服するための助言が載っています。この助言に従うなら、うわさ話をするという問題を克服することができます。「あなた自身が模範を示し、別の言葉を使うように優しく促すことで、周囲の人が清い言葉を使えるように助けてください。彼らが悪い言葉を使うときには、失礼のないようにその場を立ち去るか話題を変えてください。」

「仮にあなたに汚れた言葉遣いをする〔うわさ話をする〕習慣があったとしても、その習慣は変えられます。変わる、と決心することから始めてください。助けを求めて祈ってください。悪いと知っている言葉を使いそうになったら、口を閉じるか、言わなければならないことを別の言い方で言うてみてください。」

この冊子は、人のことを良く言うことがなぜ大切なのかも説明しています。「互いに愛し合いなさい、という主の戒めを実行できるように、人に対して親切で肯定的な話をしてください。品位ある言葉遣いをするれば、主の御霊がともにいてくださるでしょう。」（「言葉遣い」22 - 23）

人と話すときには親切な心で話してください。それはキリストのような行いであり、より良い人間関係を築くのに役立ちます。また、自分自身に対しても、より良い気持ちを抱くことができます。



黄金律

うわさ話はわたしたちの周りで日常的に起こっており、人を深く傷つけます。「最新情報」などと言って友達の間でうわさを広めるのは、一見かっこよく見えるかもしれませんが、うわさ話をされている人のことを考えてみてください。本人がその場にいたら、あなたはその話をするでしょうか。その人は、そのことをほかの人に話してもよいと言ったでしょうか。自分がうわさ話をされたらどんな気持ちかするか考えてみてください。「何事でも人からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにしなさい。」（3ネーファイ14：12）もし友達がうわさ話を始めたら、上手に話題を変えてください。

アメリカ合衆国、アリゾナ州、ジェシカ・J、16歳



うわさ話を治す薬

うわさ話には3種類の人々がかかわっています。うわさ話をする人、それを聞く人、話題にされている人です。うわさ話をやめる決心をし、実行してください。うわさ話という病気を治す薬があります。(1)友達がうわさ話を始めたら話題を変える。(2)うわさ話を聞く相手がなくなるよう、沈黙を守る。(3)「互に悪口を言い合ってはならない」ということを率直に話す(ヤコブの手紙4：11)。

カンボジア、フノンベン、バット・A、22歳

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。



否定的なことを言わない

うわさ話には破壊力があり、人の気持ちを傷つけます。うわさ話をするということは、人の評判に傷をつけようとする

敵対者を歓迎しているのと同じです。この悪い習慣を断ち切るには、ほかの人の生き方について否定的なことは一切言わないようにしなければなりません。そのような話をする人がいれば、真実であろうとそでであろうと、やめるように伝える努力をするべきです。それでもやめないときは、立ち去るべきです(マタイ12:36参照)。

わたしたちは友達に、そのような会話に決して加わらないよう助言することで、彼らを助けることができます。教会員として、またキリストに忠実に従う者として、彼らが常に真理と義を守り、模範となってほかの人の良いところについて話すよう勧めることができます(信仰箇条1:13参照)。

ブラジル, サンパウロ, イシマエル・S, 18歳

次のことを考えてみてください

うわさ話を避ける方法の一つは、レビ記第19章18節のような聖句を暗記することです。この聖句は、自分自身のように隣人を愛するようにと教えています。うわさ話をしそうになったら、心の中でこの聖句を暗唱します。「イエス様のように」(『子供の歌集』40-41)のような歌を覚え、心の中で歌うこともできます。うわさ話をしそうになった人の持つ良い点を二つ言ってみてもいいでしょう。そうすれば、その人の欠点を忘れ、代わりに長所に気づくことができます。

フィリピン, ルソン, ロードラ・M, 19歳



人々の良い点を探す

うわさ話を克服するのは難しいときもあります。しかし、いつでも隣人を愛するように努めるなら、後悔するような発言をする前に、もっと慎重になれると思います。わたしたちは人を裁く立場にありません。人々の悪いところを探すのをやめて、良い点を見つけるようにすると思います。

アメリカ合衆国, ユタ州, ヘイリー・B, 15歳

勇気が必要

「口から出る言葉が、自分と愛する者との間に壁を作る」という言葉があります。このような壁をなくすためには、自分自身で霊的な勇気、しかもとても大きな勇気を持つことが必要です。ほんとうの意味で福音を理解しているなら、教会員であるわたしたちは、うわさ話をするべきではありません。なぜなら、神はわたしたちに、口を開いて全世界に福音を宣べ伝えるように教えられたからです。口を開いて人々を批判し、うわさ話をするようにとは教えられませんでした。

フランス領ポリネシア, タヒチ, バネッサ・P, 19歳

導きを求めて祈る

うわさ話が残す傷は深く、消えるには長い時間がかかるということを忘れないでください。その人の立場に自分を置き換えるようにして、自分がほかの人から嫌なことを言われたらどのように感じるか考えてみてください。この習慣を変えたいと思うのは義になった望みです。祈りを通して真心から主の導きを求めるならば、主はあなたに力を与え、心を変えることができますよう祝福して下さるでしょう。

アメリカ合衆国, ユタ州, プリトニー・H, 12歳

質問

「家族の中でわたしはいちばん若く、年も離れていきます。きょうだいの活動や会話の輪から外れるようにいつも感じます。きょうだいとの関係を改善するために何かができるでしょうか。」

あなたの意見を聞かせてください。2008年11月15日必着で下記まで郵送か電子メールでお送りください。

あて先——

Liahona, Questions & Answers 11/08
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-3220,
USA

電子メールアドレス——

liahona@ldschurch.org

電子メールまたはお手紙には、以下の情報と署名入りの許可文を必ず明記/同封してください。

氏名

生年月日

ワード(または支部)

ステーク(または地方部)

意見と写真の掲載を許可します。

署名

親の署名(18歳未満の場合)

うわさ話は人を毒する



「悪口や中傷、陰口をやめようではありませんか。これらはそれを言う人を毒するものです。悪口はののしられる人よりもものしる人をもつと傷つけます。」

「歴代大管長の教え——デビッド・O・マッケイ」43

答えを知っている人

クリスチャン・モンソンの友達は、
問題が起こったときは
彼に相談すればよいと知っています。

教会機関誌

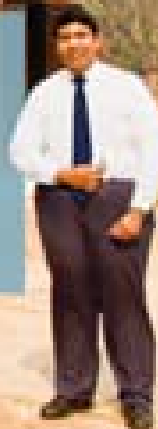
ドン・L・サール

偶然にポルノグラフィーを目にしたらどうしますか。 パラグアイのアスンシオンに住むクリスチャン・モンソンはある日、学校で友達から携帯電話を借りました。機能の一つとして付いているゲームをしようと思ったのです。ところが、その携帯電話の中にポルノグラフィーが保存されているのに気づきました。

クリスチャンは、友達に何を伝えるべきかがはっきりと分かりました。そこで、不快な画像を削除する必要があることを、友達が理解できるように助けました。そうしたものがどんなにひどい害になるかを、穏やかに説明したのです。クリスチャンはこう言いました。「もし自分が父親だったら、そういうものを息子に見せたくないよね。」

友達に話すとき、クリスチャンは『若人の強さのために』から幾つかの言葉を引用しました。この小冊子は生活のあらゆる面で役に立つと話しています。「『若人の強さのために』がなかったら、今の自分はいないと思います。」クリスチャン

クラスメートは、クリスチャンを
学級委員に選ぶほど
尊敬しています。





は学校で、『若人の強さのために』を何人かの友達に上げました。受け取った子は、問題に直面したとき、この小冊子に必要な導きを書いてあったと話してくれたそうです。

人生で誘惑に遭うとき、どこに助けを求めますか。クリスチャンは、『若人の強さのために』が、麻薬や飲酒といった、友達の間でよく見られる多くの誘惑に抵抗する助けになることを知っています。家にインターネットがある友達はほとんどいませんが、インターネットカフェに行けば、簡単にインターネットに接続し、ポルノグラフィーを見ることができるのです。

学校の友達は何か問題があるとよく、クリスチャンと兄のジミーに相談をしに来ます。この二人の末日聖徒なら答えを知っていると確信しているからです。二人とも、信仰を持っていることで学校の友達から尊敬されています。クラスメートは、クリスチャンを学級委員に選ぶほど尊敬しています。学級委員は、学校で問題が起きたときや、そのほかのときにクラスの代表として行動します。

将来のため、どのように計画を立てていますか。クリスチャンは、専任宣教師になることを初めから計画に入れておくことが、優先順位を決めるのに役立っていると言います。高校卒業後は情報技術を学びたいと考えていますが、将来メルキゼデク神権を受け、神殿に入り、伝道に行き、結婚する備えをしているという自覚があるので、どのように備えたらよいか分かるのです。

そのほか、教会の教義や歴史を研究することも、将来への備えに役立っています。実際、クリスチャンは教会歴史が大好きです。例えば、1834年にシオンの陣営に起こった話から力を得ています。シオンの陣

営は、暴徒から野営地を襲うと脅かされていました。しかし預言者ジョセフ・スミスは、主がそれを許されることはないと言いました。その晩ひどい嵐が襲い、暴徒たちは散り散りになったのです。¹ この話からクリスチャンは、主は御自身に仕える人々を守ることがおできになるので、自分も恐れずに将来に備えることができるということを学びました。

どのように証を強めていますか。クリスチャンが発見した方法の一つは、預言者ジョセフ・スミスの生涯を研究することです。クリスチャンはジョセフ・スミスについて、教義と聖約第135章3節に

学校で同級生のリーダーを務めるクリスチャン・モンソン(前ページ)と、福音学習の様子。

上—
地元の青少年にとって
霊の道しるべ
となっている
バラグアイ・
アスンシオン神殿





クリスチャンは、
1856年に
マーティン手車隊の
生存者を救助した
若者たちの話が大好きだ
と語っている(右上)。

下—
家族とともに、
ステーキセンターで。
(左から)—
ジミー(兄)、マルレーネ(母)、
アンテロ(父)、クリスチャン、
ロディー(弟)。

「ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた」と書かれていることに触れ、こう付け加えています。「ジョセフ・スミスについて知るようになって、わたしの生活は変わりました。」

また、教会歴史を研究することで、「現代に生きる自分がどのような役割を果たすべきかが分かるようになる」と言います。クリスチャンは、1856年にマーティン手車隊を救助した若者たちの話も大好きです。彼らは、疲れ切り、飢えに苦しむ開拓者を抱えて、凍るように冷たいスイートウォーター川を渡りました。² クリスチャンは、それくらい大変な試練に遭ったとき、同じような勇気を示したいと話しています。

人生で福音が大切なのはなぜですか。 クリス

チャンはこの質問の答えも知っています。アロン神権の祭司である彼は、毎朝、バラグアイ・カピアステーキ、コクエレ支部の青少年とともにセミナーに出席しています。セミナーはクリスチャンの家で行われており、母親が教師を務めています。

大好きだった祖父が突然亡くなったとき、祖父の救いの計画について学んできたことに助けられました。「福音がもたらす希望」のおかげで、慰めと平安を得ることができたのです。

福音は生活のあらゆる面で役立っていると話すクリスチャンは、次のように証しました。「聖文が天の御父からの啓示であることを知っています。この教会が真実であり、イエス・キリストが生きておられることを知っています。」■

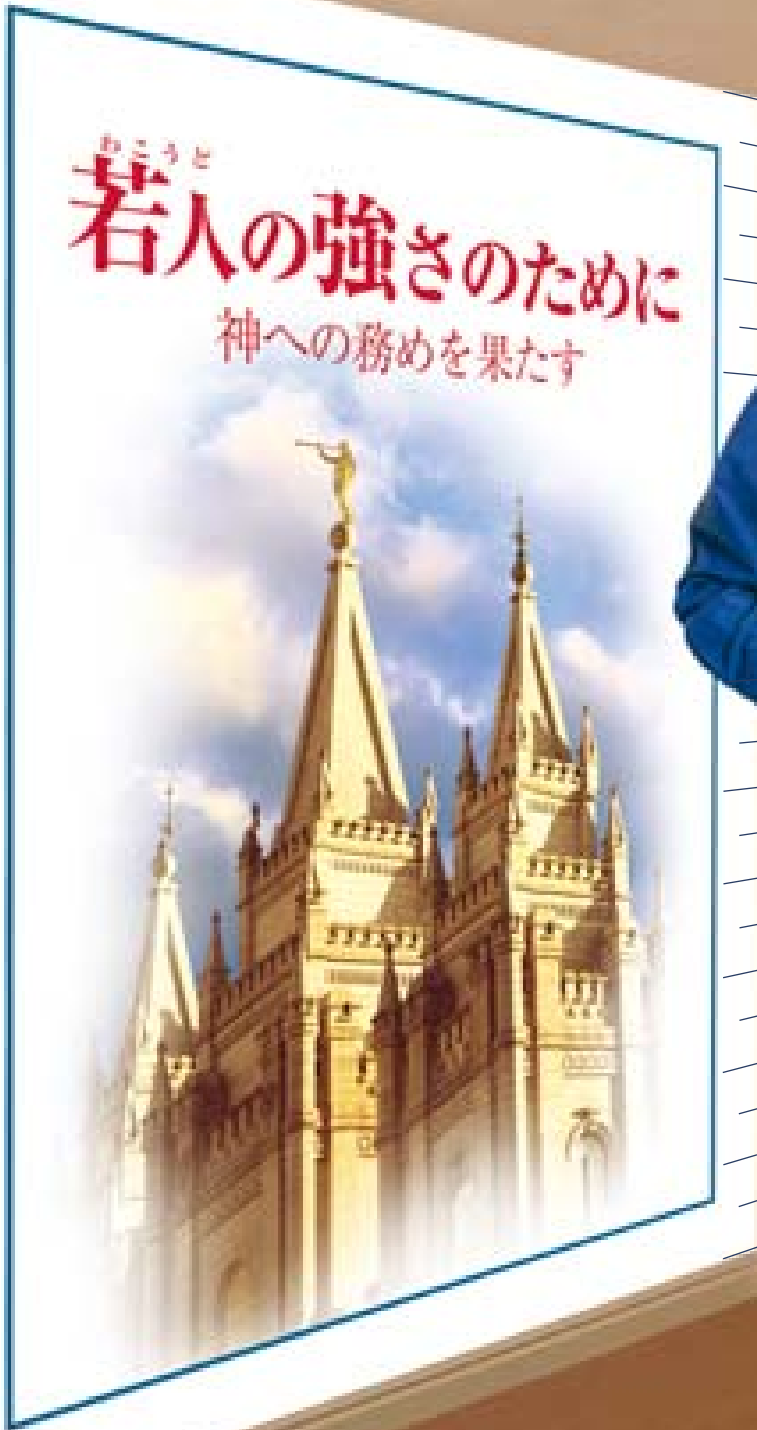
注

1. 『歴代大管長の教え——ウィルフォード・ウッドラフ』(メルキゼデク神権と扶助協会の教科課程) 137 - 138参照。
2. 『アロン神権3』 159参照

「マーティン手車隊を救った若者」クラーク・ケリー・フランス画

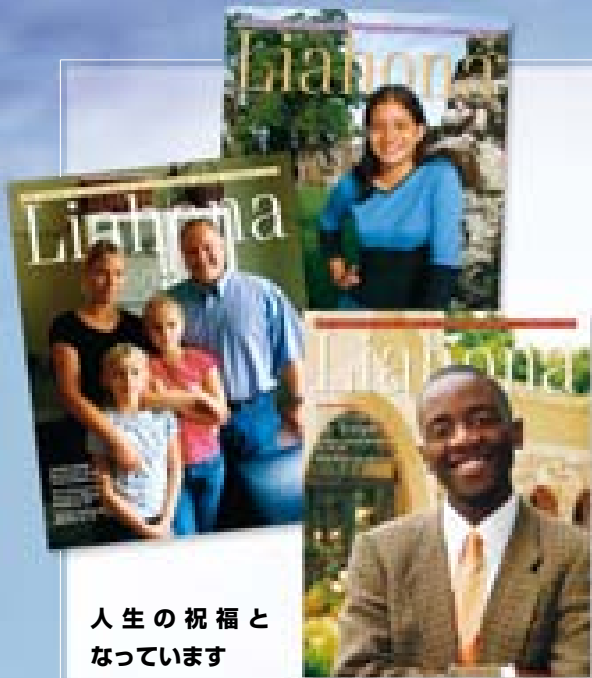


標準



常に高い標準を目指しましょう。(ヨハネ14:15参照)

読者からの便り



人生の祝福と なっています

ここバヌアツ

の地で『リアホナ』を受け取ることができ、心から感謝しています。ほかの国に住む人々について、また世界中で教会が発展する様子について読むのはすばらしいことです。この機関誌からとても多くのことを学んできました。人生の祝福となっています。『リアホナ』のおかげで、これからも成長していくことができるでしょう。

バヌアツ、アモス・タロハティ・ゾロ

清い水の泉に通じるパイプ

ワードの福音の教義クラス教師として、LDS.org 関係者の偉大な働きに深く感謝しています。わたしたちの住む地域では、教会の資料の入手や個人所有が極端に制限されています。インターネットで聖文や教会の資料を利用でき、清い水の泉に通じるパイプを手に入れたような気持ちです。皆さんの働きが、この地域に住む教会員の日々の生活にとても大きな影響を及ぼしています。天の御父からのメッセージを、自分たちの言語で手に入れることができるというのは何という奇跡でしょう。

匿名

すべての人に役立つ言葉

『リアホナ』のある生活に、どれほど感謝していることでしょうか。教会員で

あるなしにかかわらず、この機関誌にはすべての人々に役立つ靈感に満ちた言葉が載っています。「大管長会メッセージ」には、わたしたちに対する大管長会からの愛があふれています。「末日聖徒の声」には、従うべき良い模範が満載です。最初から最後まで読むようにしています。そうすると御霊が心の琴線に触れ、わたしを強くしてくれるからです。

『リアホナ』を通して、キリストの光が人々の心に感動を与えることを知っています。『リアホナ』に携わるすべての人に感謝しています。

ボルトガル、クリストフ・ジャイメ

『リアホナ』は友

『リアホナ』を読むと、主の偉大な業の一端を担っている自分がどれほど幸運であるかが分かります。『リアホナ』は、善い教会員になれるよう助けられます。伝道活動に役立つすばらしい道具です。会員であるわたしたちは、『リアホナ』を活用し、人々がキリストのもとに来るよう助けることができます。わたしにとって、『リアホナ』は最良の友の一人です。

モンゴル、ガルサンジャムツ・ダシュダバ

わたしたちには兄弟、姉妹がいます

天の御父の教会を見いだし、会員となることができるよう、御父が助けてくださったことに心から感謝しています。偉大な真理を学び、以前より善い人間になることができました。今は永遠の命を得るために備えています。家族が末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であることは大きな喜びです。わたしたちはもう孤独ではないということ、多くの兄弟、姉妹がいるということ、とてもうれしく思います。困難に満ちた何

年もの間、教会はわたしたちの強さの源でした。天の御父とイエス・キリストに感謝しています。また、わたしたちのために奉仕してくれる預言者や使徒に感謝しています。

アルメニア、スザンナ・マルティロソワ

子供向けの記事を 募集します

幼い読者のための記事を募集しています。世界中の子供たちの信仰を強めるような実話をお寄せください。liahona@ldschurch.org まで電子メールで送るか、以下の住所まで郵送でお送りください。

Children's Stories, Liahona
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-3220,
USA

投稿の際は、氏名、自宅の住所、所属ワードおよびステーク名(または支部および地方部名)を明記してください。

記事を書く際には、次の指針について考慮してください。(1)単に事実を伝えるのではなく、読んでいて光景が目に見えようように書いてください。子供が自分自身で真理を見いだす様子を、いきいきと表現してみてください。記事の中に、そのような場面をなるべくたくさん取り入れるようにしましょう。(2)子供の目線で書いてください。例えば、子供がどのように考えているかを書くのはかまいませんが、親が話している場面のほかは、親の考えを書くべきではありません。(3)誘惑や衝突を乗り越える中で、福音の真理を見つけたら応用したりした実在の子供について書いてください。例として今月号「フレンド」10ページを参照してください。



「ロシアの奉獻」 エミン・ズルフガロフ画

1903年8月、使徒でありヨーロッパ伝道部長であったフランシス・M・ライマン長老(1840 - 1916年)が、ほかの教会指導者とともに、

由緒あるサンクトペテルブルクの「夏の庭園」に集まり、福音を宣べ伝える地としてロシアを奉獻した。
ロシアのサンクトペテルブルクに住む未日聖徒の画家エミン・ズルフガロフが、絵を通してたたえられている。

この町で祈りがささげられた3日後、ライマン長老はモスクワで同様の祈りをささげた。



大 管長会は、
『若人の強さのために』の中で
次のように約束しています。
「〔皆さんは〕聖霊の助けが得られるでしょう。
自分自身に対して良い思いを抱き、
人々の生活にも良い影響を与えるようになるでしょう。
神殿に参入して
聖なる儀式を受けるふさわしさも身に付くでしょう。」
生活の中で、
約束されたこれらの祝福を受けるには
どうすればよいでしょうか。
「力強く立つための18の方法」
25ページ参照